

# 目 次

目 次	1
1. 2001年度の主な活動	3
*2001年度の入館者一覧	4
2. 資料の収集・利用	5
2-1 資料の収集	
(1) 受 贈	
(2) 購 入	
(3) 寄 託	
2-2 資料の利用	
(1) 貸 与	
(2) その他	6
3. 展示活動	7
3-1 常設展示	
(1) 歴史展示	
(2) 美術・工芸展示	8
(3) 別館展示	15
3-2 特別展示	16
(1) 自主企画展	
(2) 共催展等	18
*2001年度特別展の開催状況一覧	19
(3) 特別陳列	20
(4) 館外共催事業	
(5) 京都府民ギャラリー事業への協力	
3-3 映 画	
(1) 常設上映	
(2) 特別企画・共催事業	21
(3) 映像ギャラリー常設展示	22
(4) 京都府映像文化センター運営委員	
4. 調査研究活動	23
4-1 調 査	
(1) 埋蔵文化財の発掘と整理	
4-2 学芸員の活動	
(1) 博物館研究費による研究	
(2) 外部研究費・共同研究等による研究	
(3) 出講・委嘱	
(4) 学芸員の業績	24

5. 普及活動	… … …	27
5-1 出版物		
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』		
(2) 京都文化博物館調査研究報告		
(3) 京都文化博物館年報		
(4) 展覧会図録		
5-2 講演会・音楽会		
(1) 講演会など		
(2) 音楽会	… … …	28
5-3 博物館実習	… … …	29
5-4 その他の活動		
(1) 資料閲覧室		
(2) 文化情報コーナー		
(3) 生涯学習ボランティア	… … …	30
(4) 京都文化博物館友の会		
(5) 地域との連携		
6. 国際交流	… … …	31
6-1 陝西歴史博物館友好交流事業		
6-2 その他の交流事業		
7. ギャラリー事業	… … …	32
7-1 5・6階展示室		
(1) 京都文化財団展示室運営委員会		
(2) 美術・工芸作家の利用		
(3) 生涯学習的発表期間の利用	… … …	33
(4) 一般の利用	… … …	34
7-2 別館ホール		
8. 管理・運営	… … …	36
8-1 組織と職員		
(1) 組織		
(2) 京都文化財団役員		
(3) 京都文化博物館職員		
(4) 職員表彰等	… … …	37
8-2 施設		
(1) 本館関係		
(2) 別館関係		
(3) 主な改修・増設工事		
8-3 ろうじ店舗	… … …	38
9. 2001年度のあゆみ	… … …	39

## 1. 2001年度の主な活動

この年の自主企画展は、春に学芸第二課が「こころの交流 朝鮮通信使」展を、秋に学芸第一課の「京都画壇・王朝文化の美を描く一粟本一洋展」を開催した。歴史の常設展示室では、展示ケースを新設し、特別陳列コーナーを設けた。その最初の企画として、インターネット博覧会の京都府パビリオンに協賛して重要文化財『大島本 源氏物語』の全巻特別公開を行い、次いで「考古資料でたどる博物館周辺の歴史」というテーマで、この地域の発掘資料を陳列した。昨年度からスタートした教育・普及活動は、歴史常設展示室での学芸員による展示解説やコンパニオンによる定時の案内を4月から開始するとともに、子供用のワークシートの試行を実施した。また、前年度に引き続き、国の緊急地域雇用特別交付金を活用しての京都府緊急雇用特別基金事業の一環として、京都府映画関係資料整理事業を受託し、未整理の資料のリスト化とデータベース化を行った。整理した資料は28,804点、雇用した人員は延べ2,445.5人であった。

常設展示の入場者数が前年度に比べるとわずかに減り、特別展の入場者数はかなり減少した。そうした中でギャラリー部門の健闘が目立った。特に別館ホールでの催しは前年度に比べて件数で50%、入場者数で約70%増加した。

### ◇休館日を毎週月曜日に変更（4月2日～）

当館の休館日は、開館以来毎月1回、第3水曜日であった。しかし、公開日数の多さによる作品の疲労の問題、展示替え等の展示室での作業やエレベーター等の機器類のメンテナンスなど、公開中にできない作業の休館日への集中の問題があって、かねてより館内で議論を重ねてきた。その結果、本年度から休館日を週1回、毎週月曜日とすることにした。もちろん月曜日が祝日の場合は、翌日となる。

### ◇重要文化財『大島本 源氏物語』の全巻を特別公開（4月10日～12月16日）

インターネット上の電脳空間に展開される世界で初めての「インターネット博覧会（インパク）」が、2000年12月31日から1年間、国の主催で開催された。京都府でもこのインパクに参加し、「源氏物語パビリオン—語り継がれた一千年—」というテーマでホームページを開設した。ホームページ上では、バーチャルイベントとしてさまざまな企画が提供されていたが、一方でこのテーマに連動するリアルイベントも幾つか企画された。当館にはこのリアルイベントとして協力できないかとの打診が京都府からあって、協議の末、財古代学協会から寄託されている重要文化財『大島本 源氏物語』（全53巻、第51巻「浮舟」欠）を、同協会の協力を得て、9期に分けて全巻公開することとした。この『大島本 源氏物語』は、現存する『源氏物語』の中では、最も優れた写本として知られており、当館の開館3周年記念特別展「光源氏と平安貴族」（1991年）など、さまざまな展覧会に部分的に出品されてきたが、こうして全点が連続的に公開されるのは初めてのことであ



重要文化財『大島本 源氏物語』の特別公開  
(新設の2階歴史常設展示室特別陳列コーナー／2001年12月)

た。東京など遠隔地からの来館者も少なくなく、好評裡に公開を終えた。

#### ◇「吉川観方コレクション」から「朝鮮通信使」展に出品（4月28日～6月3日）

21世紀の幕開けの年に、学芸第二課の自主企画展として「こころの交流 朝鮮通信使一江戸時代から21世紀へのメッセージ」展を開催した。その準備の過程で、当館が管理している京都府立総合資料館所蔵の「吉川観方コレクション」の中に、朝鮮通信使関連の資料2点が含まれていることが、当館の学芸員の調査によって知られ、同展で公開された。その一は『朝鮮国使日録』である。寛永13年（1636）の第4回通信使の来日の際に、播州龍野藩の和田宗允が絵図を交えて記録した通信使の大概の、延宝4年（1676）の写本である（その翻刻を当館研究紀要『朱雀』第13集に掲載）。いま一つは、台帳に「琉球人年賀行列」と表記されていた資料である。未表装でもあったため、これまでほとんど注目されることがなかったが、当館学芸員が調査中に神戸市立博物館蔵の「朝鮮人來朝図」や個人蔵の「朝鮮通信使來朝図」などとの図柄の近似に着目し、本展企画委員の辛基秀氏や仲尾宏氏らのご指導を得て、会期半ばの5月14日から急遽公開したものである。作品名については、東京大学大学院教授のロナルド・トビ氏のご教示で、「浮絵 朝鮮人行列見立」とした。

#### ◇「才華凄艶、市川雷蔵」開催（6月9日～8月5日）

本年は、端正な容貌とニヒルなキャラクターで多くの映画ファンを魅了した市川雷蔵の生誕70年であり、また33回忌にも当たる。これを記念して、その出演映画全155作品のポスターを展示し、併せて17本の映画を上映して（映画上映は、5月3日～7月29日）、京都が生んだ映画スター・市川雷蔵の軌跡をたどることにした。当館では、これまで映像ホールで市川雷蔵の主演映画を幾度となく上映してきたが、今回は映画ポスターの展示を中心にすえて、美術・工芸展示室での常設展示の一環として企画し、市川雷蔵ポスターのコレクター・粟田宗良氏の協力を得て実現した。市川雷蔵映画全作品のポスターの一挙公開は初めての企画であり、当館にとっても常設展での映画関係の展示は初めての試みであったが、大変好評であった。なお、映画上映期間には、3階の映像ギャラリーで、4期に分けて、市川雷蔵のスチル写真の展示も行った。

#### 2001年度の入館者一覧

（単位：人）

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2001.4	4,110	1,375	5,485	5,800	8,228	14,028	9,910	9,603	19,513	3,602	4,166	300	8,068	27,581
5	5,633	1,765	7,398	7,999	8,028	16,027	13,632	9,793	23,425	3,023	2,759	883	6,665	30,090
6	3,859	1,641	5,500	10,889	4,935	15,824	14,748	6,570	21,324	3,771	2,721	852	7,344	28,668
7	3,626	1,744	5,370	14,261	6,529	20,790	17,887	8,273	26,160	3,080	1,005	580	4,665	30,825
8	3,863	1,438	5,301	3,583	2,915	6,498	7,446	4,353	11,799	2,821	2,058	0	4,879	16,678
9	3,500	960	4,460	1,899	3,419	5,318	5,399	4,379	9,778	6,430	3,370	2,243	12,043	21,821
10	3,565	1,040	4,605	4,426	3,885	8,311	7,991	4,925	12,916	6,257	4,377	1,781	12,415	25,331
11	3,989	1,450	5,439	4,381	2,595	6,976	8,370	4,045	12,415	3,856	12,046	1,529	17,431	29,846
12	2,559	1,071	3,630	5,689	2,114	7,803	8,248	3,185	11,433	4,941	3,711	1,134	9,786	21,219
2002.1	2,176	1,217	3,393	3,520	3,088	6,608	5,696	4,305	10,001	4,632	989	810	6,431	16,432
2	2,549	1,097	3,646	6,326	3,443	9,769	8,875	4,540	13,415	1,157	3,413	480	5,050	18,465
3	3,178	1,303	4,481	22,851	9,317	32,168	26,029	10,620	36,649	5,406	5,243	1,476	12,125	48,774
年度計	42,607	16,101	58,708	91,624	58,496	150,120	134,231	74,597	208,828	48,976	45,858	12,068	106,902	315,730
1日平均	138	52	190	397	253	650								

## 2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料

については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2001年度末での管理資料は42,754点、寄託資料が343点、一時保管資料が491点であった。

### 2-1 資料の収集

#### (1) 受贈

##### ①管理資料

分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数
民具・歴史資料		とんびほか	87	歴史資料		布バケツ	2
民具		冷蔵庫ほか	3	日本画	山岸 純	「天橋立」ほか	2
歴史資料		硯宮	1	人形		有職雜道具一式	1
洋画	三尾公三	「千番薇と女」	1	日本画	池庄司淳	「地の景」	1
人形	大林蘇乃	「青い木の実」ほか	3	民具		手提げ袋	1
人形		雛人形段飾り一式	1	彫刻		藪内弘「雑」	1
人形		縮緬細工	1	人形		古今雜ほか	5
		五月人形飾り一式		人形	前田美代子	「雷神」	1
民具・染織		祭礼用提灯ほか	38	陶芸		石皿	8
民具・歴史資料		籠台ほか	72			小計 18件 229点	

#### (2) 購入

種別	分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数
管理資料	日本画	吉川 観方	「円山の夜桜」ほか	3点	版画	吉原 英雄	「くつしたを穿く女」ほか	2点
	版画	黒崎 彰	「迷彩譜10」ほか	2点	版画	井田 照一	「Paper and Paper」	1点
	版画	木村 光佑	「アウト・オブ・タイム-24」	1点			小計 5件 9点	

#### (3) 寄託

種別	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	小計
館資料	日本画	1件 1点	古文書	21件 22点	典籍	21件233点	絵図	17件 19点	複製模本	1件 1点	167件804点
	貴重遺物	99件517点	一般遺物	3件 7点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点			
管理資料	日本画	6件 17点	陶器	2件 98点	民俗	3件223点	武具	1件 4点	染織	1件 1点	13件343点

### 2-2 資料の利用

#### (1) 貸与

##### ①館資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
歴史	誓願寺門前図屏風	1点	安城市歴史博物館	京都誓願寺と三河の念仏衆
考古	西賀茂瓦窯跡出土軒瓦ほか	5点	神戸市教育委員会	古代のメインロードー山陽道沿線物語
考古	西賀茂瓦窯跡出土軒瓦	2点	吹田市立博物館	常設展示

考古	西賀茂瓦窯跡出土軒瓦	2点	向日市文化資料館	常設展示
考古	フランス旧石器	10点	京都府立山城郷土資料館	京都南部の旧石器
				計 5件 20点

②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画ほか	奥田真子「春の気」ほか	28点	京都府文化芸術室	京都府庁内展示
日本画	今尾景年「四時花木群虫図」ほか	4点	華鶴美術館	円山・四条派の最後の画人— 木島桜谷と河合文林
日本画	三輪晃久「地創」ほか	3点	新潟県立近代美術館	日本画の三人 大矢紀・三輪晃久・山崎隆夫展
日本画	山口華揚「白鷺」ほか	4点	京都新聞社・倉敷市立美術館	文化勲章に輝く—京都画壇11人の巨匠達
日本画	上村松園「夕暮」	1点	京都新聞社	文化勲章に輝く—京都画壇11人の巨匠達
日本画	池大雅「金山」	1点	東京国立博物館	美術の中のごどもたち
日本画	三条西実隆像	1点	池坊短期大学むろまち美術館	香道のせかい展—志野流の展開—
日本画	小松均「蓮」	1点	京都国立近代美術館	小松均展
日本画	上村松堂「縞白鷺」	1点	毎日新聞社文化事業局長	上村松堂展
日本画	朝鮮通信使行列図	1点	池坊短期大学むろまち美術館	京表具のせかい
日本画	上村松堂「壬生狂言」(京の百景)	1点	京都市美術館	生誕100年 上村松堂展
洋画	須田国太郎「戸外静物」	1点	蘭島閣美術館	須田国太郎展
洋画	由里明「放鳥」ほか	3点	由里綾子	由里明回顧展
彫刻	星野暁「表層・深層」	1点	滋賀県立近代美術館	滋賀の現代作家展 星野暁
陶芸	石黒宗麿「鉄絵大皿“菱”」ほか	3点	京都府教育庁文化財保護課	第30回日本伝統工芸近畿展
陶芸	森野嘉光「大白磁彫文花瓶」ほか	26点	大宮町	森野嘉光—窯変の神秘—(府民ギャラリー)
陶芸	七代錦光山宗兵衛 「上絵金彩婦人図香炉」ほか	6点	茨城県陶芸美術館	板谷波山と近代の陶芸
陶芸	九代帯山与兵衛 「色絵金彩唐人図三足香炉」	1点	京都市生涯学習総合センター	博覧会ものがたり—出会いとはばたき—
染織	北村武資「忍冬華文羅着物」	1点	群馬県立近代美術館	人間国宝北村武資—織の美—
染織	岸本景春 刺繍額「連翔」ほか	23点	京都工芸美術作家協会 京都府文化芸術室	京都工芸美術作家協会展 21世紀の出発
染織	喜多川平朗「若松唐草地 鳳凰丸文二階織物小袷」ほか	2点	茨城県近代美術館天心記念五 浦分館	織—絹の美と技—
染織	麻田脩二「WORK G84」ほか	8点	京都国立近代美術館 東京国立近代美術館	京都の工芸1945—2000
染織	細見華岳「有紋薄物着物“陽苑”」	1点	細見華岳	西陣織の殿堂—昭和からの軌跡—
染織	白織子地几帳文様打掛(寄託資料)	1点	大阪歴史博物館	よみがえる小袖—明日につなぐ “職人集団染技連”の仕事—
書	日比野五鳳「もみぢ」	1点	朝日新聞社文化企画局	かな書の巨匠 日比野五鳳展
民具	立雛蒔絵重箱	1点	特別展「みしま」実行委員会	みしま—三嶋厩から三島茶碗へ—
風俗	菊燈台	2点	大山崎町歴史資料館	えごまを求めて
風俗(図書)	朝鮮国使日録	1点	福岡県立美術館	こころの交流 朝鮮通信使
歴史資料	坂本龍馬書状ほか	2点	下関市立長府博物館	三吉慎蔵と坂本龍馬
				計 29件 130点

(2) その他

種別	撮影	観覧	寄託資料一時持ち出し					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館資料	4件 5点	2件 18点	考古	土偶ほか	2点	古代学協会	研究	2件 358点
			考古	埴輪ほか	356点	古代学協会	研究	
管理資料	38件 71点	11件 49点	民俗	祇園祭放下鉾資料	3点	放下鉾保存会	展示	3件 8点
			民俗	鞍馬図絵馬	1点	子守神社	展示	
			民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	

### 3. 展示活動

#### 3-1 常設展示

##### (1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、歴史の展示室の北端に展示ケースを新設し、本年度から新たに「特別陳列コーナー」を設けることにした。ここでは、一定のテーマを設けて主として館蔵資料や寄託資料の中から選んで展示していく予定である。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化は無いので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

##### ①特別陳列コーナー

◇インターネット博覧会京都府パビリオン「源氏物語」  
協賛《重要文化財『大島本源氏物語』特別公開》

概要：平成12年末から全国展開された「インターネット博覧会」に参加した京都府のホームページ「源氏物語パビリオン」に協賛して、当館に寄託されている（財）古代学協会所蔵の重要文化財『大島本源氏物語』全53巻すべてを、9期に分けて公開した。

期間：2001年4月10日～12月16日

作品：大島本源氏物語（重要文化財）・紫式部日記絵巻断簡・立花本源氏物語・源氏物語新釈（賀茂真淵）

##### ◇考古資料でたどる博物館周辺の歴史

（京都の考古学シリーズ①）

概要：京都文化博物館を含む一画は、平安京の左京三条四坊四町にあたり、平安時代には後白河法皇の皇子・以仁王の邸宅・高倉宮の地であり、中世から近世には尼五山の一つの通玄寺曇華院があった。明治以降は赤レンガの郵便局や日本銀行が建てられ、京都の金融街として賑わった。5度にわたるこの一画の発掘調査の成果をもとに、その歴史をたどった。

期間：2001年12月18日～2002年6月2日

作品：「三条通を歩く人」（画：佐々木和子・三橋節子）、縄文時代の土器・石器土偶、弥生時代の土器・石器、平安時代の馬頭骨（高倉小路側溝出土）、瓦類、緑釉陶器、中国製白磁・青磁、土師器、近世の焼塩壺、こね鉢、かんざし、泥面子、伏見人形、元文小判など。

##### ②展示替え（概観展示・集中展示）

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器（協力：門脇氏）		随時
京洛四季	京の商い	看板・暖簾・算盤箱・一斗杓・天秤	（*）5点	2001.4.17～2001.10.14
		看板（2点）・売薬手提箱・五合杓・一升杓・糸秤	（*）6点	2001.10.16～2002.4.14
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小水差・染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付四季花卉模様スープ皿（三代清水六兵衛作）／染付草花模様紅茶碗（三代清風与平作）	（*）6点	2001.4.17～2001.7.8
		染付草花模様ソース鉢（和気亀亭作）／染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様スープ皿（2点）・染付草花模様小判形皿（以上、幹山伝七作）／染付草花模様蓋付平鉢（三代清風与平作）	（*）7点	2001.7.10～2001.10.14
		染付草花模様紅茶碗（2点）（三代清風与平作）／染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小水差・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付草花模様皿（2点）（四代高橋道八作）／染付ブドウ酒呑（5点）（和	12点	2001.10.16～2002.1.20

		気亀亭作) (※)			
		染付草花模様砂糖入・染付草花模様小判形皿・染付草花模様台付皿(以上、幹山伝七作)／染付草花模様ソース鉢(和気亀亭作)／染付草花模様蓋付平鉢(三代清風与平作)／染付四季花卉模様肉皿(2点)(三代清水六兵衛作) (※)	7点		2002. 1.22～2002. 4.14
集中展示	宗家の地	和歌の家―冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角罍 (**)／*	3点		2001. 6.12～2001. 9.16
		琵琶の家―茶琵琶・源氏物語絵巻(複製) (*／**)	2点		2001. 9.18～2001.12.16
		蹴鞠の家―蹴鞠(3点)・関係写本(3件) (*)	6点		2001.12.18～2002. 3.17
		和歌の家―冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角罍 (**)／*	3点		2002. 3.19～2002. 6.16
	能と狂言	狂言面―白蔵主・福の神・犬(協力:茂山家)	3点		2001. 6.12～2001. 9.16
		孝明天皇拜領扇子・胴箔秋草文様腰帯・白地立涌五七桐文様腰帯・朱地糸巻文様腰帯(協力:金剛家)	4点		2001. 9.18～2001.12.16
		狂言面―賢徳・福の神・乙(協力:茂山家)	3点		2001.12.18～2002. 3.17
		中啓(桜文様葛扇)・胴箔枝垂桜文様腰帯・赤地蔓文様腰帯・白地山吹文様腰帯・納戸地藤文様腰帯(協力:金剛家)	5点		2002. 3.19～2002. 6.16
	匠の世界	鋳金具―鋳金具関係道具類および写真・パネル(協力:(株)磯村才治郎商店)	一式		2001. 6.12～2002. 2.17
		伝統建築―多宝塔部分実大模型・写真・図面パネル(協力:伸和建設(株))	一式		2002. 2.19～2002.10.20
	京のまつり	祇園祭長刀鉾模型 (**)	1点		2001. 6.12～2001. 9.16
		久多花笠祭花笠 (*)	1点		2001. 9.18～2001.12.16
		祇園祭月鉾模型(大) (**)	1点		2001.12.18～2002. 3.17
		祇園祭月鉾模型(小) (*)	1点		2002. 3.19～2002. 6.16

※ ( )内の\*印の資料は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)、\*\*印の資料は当館蔵

## (2) 美術・工芸展示

### ◇市川雷蔵映画ポスター展《才華凄艶、市川雷蔵》

概要：市川雷蔵出演全映画155作品のポスターをはじめ一室に公開するとともに、京都府フィルムライブラリーから17本の映画を映

像ホールで上映

期間：2001年6月9日～8月5日

作品：市川雷蔵映画ポスター155点

No	題名	封切年	製作	監督	No	題名	封切年	製作	監督
1	花の白虎隊	1954	大映京都	田坂 勝彦	25	続花頭巾	1957	大映京都	田坂 勝彦
2	銭形平次捕物控 幽霊大名	1955	大映京都	弘津 三男	26	あばれ鳶		大映京都	森 一生
3	千姫		大映京都	木村 恵吾	27	編笠権八		大映京都	三隅 研次
4	歌ごよみ お夏清十郎		新東宝	冬島 泰三	28	スタジオはてんやわんや		大映東京	浜野 信彦
5	潮来出島 美男剣法		大映京都	安田 公義	29	大阪物語		大映京都	吉村公三郎
6	次男坊鴉		大映京都	弘津 三男	30	朱雀門		大映京都	森 一生
7	次男坊判官		大映京都	加戸 敏	31	源氏物語 浮舟		大映京都	衣笠貞之助
8	鬼斬り若様		大映京都	安田 公義	32	二十九人の喧嘩状		大映京都	安田 公義
9	薔薇いくたびか		大映東京	衣笠貞之助	33	弥太郎笠		大映京都	森 一生
10	踊り子行状記		大映京都	安田 公義	34	万五郎天狗		大映京都	森 一生
11	網渡り見世物侍		大映京都	加戸 敏	35	稲妻街道	大映京都	森 一生	
12	新・平家物語	大映京都	溝口 健二	36	鳴門秘帖	大映京都	衣笠貞之助		
13	いろは囃子	大映京都	加戸 敏	37	鬼火驚籠	大映京都	弘津 三男		
14	怪盗と判官	大映京都	加戸 敏	38	桃太郎侍	大映京都	三隅 研次		
15	花の渡り鳥	1956	大映京都	田坂 勝彦	39	月姫系図	1958	大映京都	渡辺 実
16	又四郎喧嘩旅	大映京都	田坂 勝彦	40	遊侠五人男	大映京都	加戸 敏		
17	柳生連也斎 秘伝月影抄	大映京都	田坂 勝彦	41	花太郎呪文	大映京都	安田 公義		
18	浅太郎鴉	大映京都	三隅 研次	42	忠臣蔵	大映京都	渡辺 邦男		
19	喧嘩鳶	大映京都	田坂 勝彦	43	旅は気まぐれ風まかせ	大映京都	田坂 勝彦		
20	花の兄弟	大映京都	三隅 研次	44	命を賭ける男	大映京都	加戸 敏		
21	花頭巾	大映京都	田坂 勝彦	45	七番目の密使	大映京都	森 一生		
22	銭形平次捕物控 人肌蜘蛛	大映京都	森 一生	46	女狐風呂	大映京都	安田 公義		
23	弥次喜多道中	大映京都	斎藤寅次郎	47	人肌孔雀	大映京都	森 一生		
24	月形半平太 花の巻・嵐の巻	大映東京	衣笠貞之助	48	炎上	大映京都	市川 崑		



49	日蓮と蒙古大襲来	大映京都	渡辺 邦男	103	新選組始末記	1963	大映京都	三隅 研次
50	濡れ髪剣法	大映京都	加戸 敏	104	雪之丞変化		大映京都	市川 崑
51	伊賀の水月	大映京都	渡辺 邦男	105	影を斬る		大映京都	池広 一夫
52	弁天小僧	大映京都	伊藤 大輔	106	第三の影武者		大映京都	井上 梅次
53	人肌牡丹	1959	大映京都	森 一生	107	手討	大映京都	田中 徳三
54	遊太郎巷談	大映京都	田坂 勝彦	108	てんやわんや次郎長道中		大映京都	森 一生
55	蛇姫様	大映京都	渡辺 邦男	109	続忍びの者		大映京都	山本 薩夫
56	若き日の信長	大映京都	森 一生	110	妖僧		大映京都	衣笠貞之助
57	お嬢吉三	大映京都	田中 徳三	111	眠狂四郎殺法帖		大映京都	田中 徳三
58	山田長政 王者の剣	大映京都	加戸 敏	112	新忍びの者		大映京都	森 一生
59	千羽鶴秘帖	大映京都	三隅 研次	113	眠狂四郎勝負	1964	大映京都	三隅 研次
60	次郎長富士	大映京都	森 一生	114	剣		大映京都	三隅 研次
61	ジャン・有馬の襲撃	大映京都	伊藤 大輔	115	昨日消えた男		大映京都	森 一生
62	濡れ髪三度笠	大映京都	田中 徳三	116	眠狂四郎円月斬り		大映京都	安田 公義
63	かげろう絵図	大映京都	衣笠貞之助	117	忍びの者 霧隠才蔵		大映京都	田中 徳三
64	薄桜記	大映京都	森 一生	118	無宿者		大映京都	三隅 研次
65	浮かれ三度笠	大映京都	田中 徳三	119	眠狂四郎女妖剣		大映京都	池広 一夫
66	初春狸御殿	大映京都	木村 恵吾	120	博徒ざむらい		大映京都	森 一生
67	二人の武蔵	1960	大映京都	渡辺 邦男	121	忍びの者 続霧隠才蔵	大映京都	池広 一夫
68	濡れ髪喧嘩旅	大映京都	森 一生	122	眠狂四郎炎情剣	1965	大映京都	三隅 研次
69	ぼんち	大映京都	市川 崑	123	赤い手裏剣		大映京都	田中 徳三
70	大江山酒天童子	大映京都	田中 徳三	124	若親分		大映京都	池広 一夫
71	歌行燈	大映京都	衣笠貞之助	125	眠狂四郎屬性剣		大映京都	安田 公義
72	続次郎長富士	大映京都	森 一生	126	忍びの者 伊賀屋敷		大映京都	森 一生
73	切られ与三郎	大映京都	伊藤 大輔	127	若親分出獄		大映京都	池広 一夫
74	安珍と清姫	大映京都	島 耕二	128	新鞍馬天狗		大映京都	安田 公義
75	大菩薩峠	大映京都	三隅 研次	129	剣鬼		大映京都	三隅 研次
76	忠直卿行状記	大映京都	森 一生	130	新・鞍馬天狗 五條坂の決闘		大映京都	黒田 義之
77	大菩薩峠 竜神の巻	大映京都	三隅 研次	131	若親分喧嘩状	1966	大映京都	池広 一夫
78	花くらべ狸道中	1961	大映京都	田中 徳三	132	忍びの者 新・霧隠才蔵	大映京都	森 一生
79	濡れ髪牡丹	大映京都	田中 徳三	133	眠狂四郎多情剣		大映京都	井上 昭
80	好色一代男	大映京都	増村 保造	134	若親分乗り込む		大映京都	井上 昭
81	おけさ唄えば	大映京都	森 一生	135	陸軍中野学校		大映東京	増村 保造
82	大菩薩峠 完結篇	大映京都	森 一生	136	大殺陣 雄呂血		大映京都	田中 徳三
83	沓掛時次郎	大映京都	池広 一夫	137	若親分あばれ飛車		大映東京	田中 重雄
84	水戸黄門海を渡る	大映京都	渡辺 邦男	138	陸軍中野学校 雲一号指令		大映京都	森 一生
85	鯉名の銀平	大映京都	田中 徳三	139	眠狂四郎無頼剣		大映京都	三隅 研次
86	新源氏物語	大映京都	森 一生	140	新書・忍びの者		大映京都	池広 一夫
87	釈迦	大映京都	三隅 研次	141	陸軍中野学校 竜三号指令	1967	大映京都	田中 徳三
88	かげろう侍	大映京都	池広 一夫	142	若親分を消せ		大映京都	中西 忠三
89	花の兄弟	大映京都	池広 一夫	143	ある殺し屋		大映京都	森 一生
90	女と三悪人	1962	大映京都	井上 梅次	144	陸軍中野学校 密命	大映京都	井上 昭
91	婦系図	大映京都	三隅 研次	145	眠狂四郎無頼控 魔性の肌		大映京都	池広 一夫
92	破戒	大映京都	市川 崑	146	若親分兇状旅		大映京都	森 一生
93	仲良し音頭 日本一だよ	大映東京	井上 芳夫	147	華岡青洲の妻		大映京都	増村 保造
94	中山七里	大映京都	池広 一夫	148	ある殺し屋の鍵		大映京都	森 一生
95	斬る	大映京都	三隅 研次	149	若親分千両肌		大映京都	池広 一夫
96	江戸八百七十里	大映京都	森 一生	150	眠狂四郎女地獄	1968	大映京都	田中 徳三
97	長脇差忠臣蔵	大映京都	渡辺 邦男	151	陸軍中野学校 開戦前夜		大映京都	井上 昭
98	剣に賭ける	大映京都	田中 徳三	152	ひとり狼		大映京都	池広 一夫
99	殺陣師段平	大映京都	瑞穂 春海	153	眠狂四郎人肌蜘蛛		大映京都	安田 公義
100	秦・始皇帝	大映東京	田中 重雄	154	眠狂四郎悪女狩り	1969	大映京都	池広 一夫
101	忍びの者	大映京都	山本 薩夫	155	博徒一代 血祭り不動		大映京都	安田 公義
102	陽気な殿様	大映京都	森 一生					

▽併催 京都の美術・工芸展《飄逸の陶彫 高山泰造展》

概要：京都府所蔵の高山泰造作品の中から選りすぐり展示

期間：2001年6月9日～8月5日

作品：陶彫44点

作品名	制作年	作品名	制作年	作品名	制作年	作品名	制作年
鉄道工夫	大正7年	捨身供養	昭和48年	観世音静坐	昭和40年	筆硯童子	昭和50年代前半
陶工	大正7年	虎と子羊	昭和48年	工人	昭和42年	虎に乗る女神	昭和52年頃
チェス	大正7年	小原庄助角皿	昭和50年代前半	鶏	昭和42年	羊	昭和53年
母子牛	昭和9年	猪図角皿	昭和50年代前半	犬	昭和44年	信楽鯉繪壺	昭和53年
カンガルー	昭和13年	松図角皿	昭和50年代前半	鼠と卵	昭和45年	獅子	昭和55年
猫	昭和13年	田之神図角皿	昭和50年代前半	不動明王	昭和45年	鳥地藏	昭和55年
猫楽炉蓋	昭和15年	虎溪三笑	昭和50年代前半	摩耶夫人	昭和46年	地藏皿	昭和55年
フラミンゴ	昭和15年	寿老	昭和50年代前半	いっちゃん兎図角皿	昭和47年	六地藏	昭和55年
二匹犬	昭和32年	筆硯童子	昭和50年代前半	兎	昭和47年	御輿	昭和55年頃
鬼子母神	昭和39年	筆硯童子	昭和52年頃	虎	昭和48年	恵比須	昭和56年
寒山拾得	昭和39年	弁才天	昭和52年頃	虎	昭和48年	最後の晩餐	昭和57年

※ 作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

◇京都の美術・工芸展《“連なり”の景色—連続と集合—》

概要：京都府所蔵品から連続や列など連なるイメージの作品を紹介

作品：日本画25点、洋画8点、版画1点、染織15点、陶芸20点、截金1点

期間：2001年8月7日～10月14日

分野	作品名	作者	制作年	備考	展示期間
日本画	京洛三十六家画帖	諸家	文政元年	吉川観方コレクション	全期
日本画	鴨川の夕立	宇田 荻邨	昭和29年		全期
日本画	明けゆく比良	金島 桂華	昭和46年		全期
日本画	さい果て	西山 英雄	昭和46年		全期
日本画	沢渡	正井 和行	昭和47年		全期
日本画	あお麦	重岡 良子	昭和52年		全期
日本画	焼仏	浅野 公造	昭和53年		全期
日本画	湿	扇 敏之	昭和53年		全期
日本画	赤碕村2	西久松吉雄	昭和54年		全期
日本画	暮れなずむ蘇州	堂本 元次	昭和56年		全期
日本画	化野念佛寺	川端 健生	昭和61年		全期
日本画	金魚	磯部 茂樹	平成6年		全期
日本画	家族	入江西一郎	平成6年		全期
日本画	求餌図	大沼 憲昭	平成6年		全期
日本画	彼岸の華	多留 裕二	平成6年		全期
日本画	猿橋	西野 陽一	平成6年		全期
日本画	熱砂を行く	山崎 忠明	平成6年		全期
日本画	稻荷山	渡辺 武蔵	昭和61年		全期
日本画	本朝画家肖像	岡本 春暉	明治18年	吉川観方コレクション	前期
日本画	十二ヶ月花鳥図押絵貼屏風	諸家	享和元年	吉川観方コレクション	後期
日本画	百老仙図	塩川 文麟	安政元年		後期
日本画	群魚図	幸野 煤嶺	明治4年	吉川観方コレクション	後期
日本画	四時花木群蟲図	今尾 景年	明治18年	今尾景祥氏寄附	後期
日本画	賢女	榊原 文翠	明治時代前期	吉川観方コレクション	後期
洋画	夏の子No. 2	小牧源太郎	昭和26年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	稻荷山	齋藤 真成	昭和34年	大橋律子氏寄附	全期
洋画	収穫讃歌	芝田 米三	昭和48年		全期
洋画	二つの箱	三尾 公三	昭和48年		全期
洋画	無題(A)	小西 典夫	昭和52年		全期
洋画	鏡の中の少女たち	津田 周平	昭和53年	津田トシ氏寄附	全期
洋画	The Doors	伴 清一郎	昭和56年		全期

洋画	Turbulent Flow	松山 和夫	昭和60年		全期
版画	ASPARAGUS PARADISE	山本 容子	昭和52年		全期
染織	染色型紙数種		明治～昭和初期		全期
染織	型友禅下絵数種		明治～大正時代		全期
染織	樹海	春日井秀大	昭和39年		前期
染織	友禅訪問着 流文	羽田登喜男	昭和46年		前期
染織	松影	加藤正二郎	昭和53年		前期
染織	僧侶シリーズ3 僧堂座禅	中堂 憲一	昭和55年		前期
染織	僧侶シリーズ5 法要	中堂 憲一	昭和55年		前期
染織	紫縮緬地網干湊千鳥模様小袖		江戸時代後期		後期
染織	紹地枝垂柳模様小袖		江戸時代後期	吉川観方コレクション	後期
染織	鼠羽二重地盆栽盛花模様友禅染振袖		明治時代前期	吉川観方コレクション	後期
染織	友禅訪問着 光と影	森口 華弘	昭和36年		後期
染織	ペナレスの月	皆川 泰蔵	昭和44年		後期
染織	溪の春	加藤正二郎	昭和57年		後期
染織	僧侶シリーズ4 勤行	中堂 憲一	昭和55年		後期
染織	僧侶シリーズ7 托鉢	中堂 憲一	昭和55年		後期
陶芸	色絵織文碗		江戸時代後期		全期
陶芸	猪口向付		江戸時代後期		全期
陶芸	乾山写錆絵染付水注	永楽 和全	明治時代		全期
陶芸	色絵七宝水差	五代清水六兵衛	大正8年	福井篤子氏寄附	全期
陶芸	色絵燕文花瓶	六代清水六兵衛	昭和5年	服部満稚子氏寄附	全期
陶芸	赤染群鶴茶碗	五代清水六兵衛	昭和26年	服部満稚子氏寄附	全期
陶芸	朝空	楠部 彌弼	昭和26年	大澤素子氏寄附	全期
陶芸	幾何学文赤絵蓋物	河合卯之助	昭和27～28年	河合紀氏寄附	全期
陶芸	水明釉花刻花瓶	伊東 翠壺	昭和20年代後半	伊東慶氏寄附	全期
陶芸	彩釉象嵌壺	伊東 翠壺	昭和30年頃	伊東慶氏寄附	全期
陶芸	赫斑 幼花瓶	六代清水六兵衛	昭和36年	服部満稚子氏寄附	全期
陶芸	厥釉“力”花瓶	楠部 彌弼	昭和38年		全期
陶芸	玄窯宇津花瓶	六代清水六兵衛	昭和40年	服部満稚子氏寄附	全期
陶芸	暦日	熊倉 順吉	昭和40年		全期
陶芸	魚	楠部 彌弼	昭和42年	大澤素子氏寄附	全期
陶芸	玄窯丸紋花瓶	六代清水六兵衛	昭和45年	清六陶苑寄附	全期
陶芸	白磁花瓶	井上 治男	昭和46年		全期
陶芸	碧青釉新芽文花瓶	小山 喜平	昭和48年		全期
陶芸	粉華壺	近藤 豊	昭和52年		全期
陶芸	條苑	小林 英夫	昭和58年		全期
截金	截金波頭文節筥	斎田 梅亭	昭和42年		全期

※ 展示期間 前期：8月7日～9月2日、後期：9月4日～10月14日

※ 出品作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

#### ◇京都の美術・工芸展《物語の小径—文学にもとづく作品を集めて—》

概要：京都府所蔵品から文学と美術の関係を示す  
作品を展示

期間：2001年10月16日～12月2日

構成：第1部—新聞小説挿絵／第2部—現代作家  
による物語の表現／第3部—近世・近代に  
おけるさまざまな文学の表現／第4部—小

袖にみる物語の謎解き／第5部—江戸時代  
の新しい絵巻／第6部—立体造形に息づく  
文学

作品：日本画20点、洋画2点、彫刻3点、染織7  
点、人形5点、金工2点

部	分野	作品名	作者	制作年	備考	展示期間
第1部	日本画	司馬遼太郎作【播磨灘物語】挿絵原画	西山 英雄	昭和48～50年		全期
第2部	洋画	荒野を走る	安田 謙	昭和48年		全期
	洋画	ドンキホーテの祈り	安田 謙	昭和55年		全期
	日本画	道成寺	勝田 哲	昭和41年		全期

	日本画	伊曾保数語	堂本 印象	大正10年	*	全期
	日本画	普陀山卷	堂本 印象	大正11年	*	全期
	日本画	公子行絵巻	堂本 印象	大正14年	*	全期
	日本画	かぐや姫誕生	樋口富麻呂	昭和30年		全期
	染 織	陰陽師	藤野 靖子	平成5年		全期
	日本画	鷺(能)	堀井 香坡	昭和61年		全期
第3部	日本画	安宅関之図	今尾 景年	明治19年	今尾景祥氏寄附	全期
	日本画	蘭亭曲水之図	月 僊	江戸時代後期	吉川観方コレクション	全期
	日本画	魯秋潔婦図	幸野 椋嶺	明治18年	中瀧太郎氏寄附	全期
	日本画	雪中常磐図	塩川 文麟	明治時代	吉川観方コレクション	全期
	日本画	八岐大蛇退治図	鈴木 松年	明治4年	吉川観方コレクション	全期
	日本画	三十六歌仙画帖	田能村直入	明治20年	田能村こま氏他寄附	全期
	日本画	定家詠十二ヶ月花鳥図屏風	土佐 光貞	江戸時代中期	池垣岩夫氏寄附	全期
	日本画	風雪三顧図	中島 来章	江戸時代後期	吉川観方コレクション	全期
	日本画	源氏物語(若菜上)	西川 祐信	江戸時代中期	吉川観方コレクション	全期
	日本画	足柄山	邨田 丹陵	明治時代	吉川観方コレクション	全期
	日本画	六玉川図	奥 文鳴	江戸時代後期	吉川観方コレクション	全期
	日本画	伊賀局と天狗	渡辺 省亭	明治33年	吉川観方コレクション	全期
第4部	染 織	鼠縮緬地御所解模様小袖		江戸時代後期		前期
	染 織	水浅葱縮緬地御所解模様小袖		江戸時代後期		前期
	染 織	水浅葱縮緬地御所解模様小袖		江戸時代後期		後期
	染 織	藍縮緬地御所解模様単衣		江戸時代後期	吉川観方コレクション	前期
	染 織	紫縮緬地雲取源氏物語模様振袖		明治時代	吉川観方コレクション	後期
	染 織	鼠縮緬地御所解模様小袖		江戸時代後期	吉川観方コレクション	後期
第5部	日本画	七難図巻	八田 古秀	江戸時代後期	吉川観方コレクション	全期
第6部	人 形	蘭陵王	大木平蔵製	昭和35年頃	高須春枝氏寄附	全期
	人 形	伊須気余理比賣	平中 歳子	昭和43年		全期
	人 形	茜雲	大林 蘇乃	昭和40年	山崎三千子氏寄附	全期
	人 形	右方楽人	林 駒夫	平成10年		全期
	人 形	浮世の又平	福島 秀子	昭和50年頃		全期
	金 工	仔狐装い	加藤 宗蔵	昭和57年		全期
	金 工	鷺姫	加藤 宗蔵	昭和54年		全期
	彫 刻	すわる	笹山 幸徳	昭和43年		全期
	彫 刻	コスチュームの娘	柴田 篤男	昭和45年		全期
	彫 刻	待ったのに	宮瀬 富之	昭和43年		全期

※ \*印の作品は、京都府立堂本印象美術館蔵、その他は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)  
前期：10月16日～11月4日、後期：11月6日～12月2日

#### ◇京都の美術・工芸展《京都府所蔵絵画コレクション撰

— 池 大雅、三谷十糸子、三橋節子、向井潤吉、小牧源太郎、西川 純 —

概 要：京都府所蔵品から絵画のまとまった作品群  
を選んで展示

作 品：日本画一池大雅14点、三谷十糸子10点、三  
橋節子6点、洋画一向井潤吉22点、小牧源  
太郎15点、西川純25点

期 間：2001年12月4日～2002年2月3日

分野	作 品 名	作 者	制 作 年	備 考	展示期間
洋 画	奥多摩春景	向井 潤吉	昭和38年	東京都青梅市沢井	全期
洋 画	残雪の村	向井 潤吉	昭和38年	長野県白馬村南神城	全期
洋 画	またぎの家	向井 潤吉	昭和38年	秋田県阿仁町根子	全期
洋 画	風と砂の道	向井 潤吉	昭和39年	青森県市浦村十三	全期
洋 画	中仙道番場宿	向井 潤吉	昭和39年	滋賀県米原町番場	全期
洋 画	八ヶ岳快晴	向井 潤吉	昭和39年	山梨県小淵沢町	全期
洋 画	草土の家	向井 潤吉	昭和41年	岩手県一戸町姉帯	全期
洋 画	岩倉残秋	向井 潤吉	昭和42年	京都市左京区岩倉	全期
洋 画	段丘と湖	向井 潤吉	昭和42年	滋賀県大津市上仰木	全期

洋画	鎌川平野の家	向井 潤吉	昭和42年	島根県斐川町	全期
洋画	芽ぶく山郷	向井 潤吉	昭和42年	山形県朝日町上郷	全期
洋画	根来寺界隈	向井 潤吉	昭和43年	和歌山県岩出町根来	全期
洋画	山河春雪	向井 潤吉	昭和44年	京都府京北町大野	全期
洋画	下山雪後	向井 潤吉	昭和44年	京都府丹波町下山	全期
洋画	春雪のあと	向井 潤吉	昭和44年	埼玉県坂戸市花影町	全期
洋画	筑後柳川の春	向井 潤吉	昭和44年	福岡県柳川市	全期
洋画	知覧の裏小路	向井 潤吉	昭和44年	鹿児島県知覧町	全期
洋画	西ノ京池畔	向井 潤吉	昭和44年	奈良市西ノ京	全期
洋画	洛北暮雪	向井 潤吉	昭和45年	京都市左京区大原	全期
洋画	白毫寺の辻	向井 潤吉	昭和46年	奈良市白毫寺町	全期
洋画	氷雨の大内宿	向井 潤吉	昭和46年	福島県下郷村大内	全期
洋画	丹波路好秋	向井 潤吉	昭和48年	京都府丹波町下山	全期
洋画	夏の子No.1	小牧源太郎	昭和26年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	夏の子No.2	小牧源太郎	昭和26年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	飛行	小牧源太郎	昭和27年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	鳥	小牧源太郎	昭和27年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	ひな	小牧源太郎	昭和29年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	エスピリト・サント	小牧源太郎	昭和34年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	また逢う日まで	小牧源太郎	昭和35年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	印相婆藪	小牧源太郎	昭和40年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	景観No.10	小牧源太郎	昭和45年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	春瀧No.2	小牧源太郎	昭和54年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	景観80No.5	小牧源太郎	昭和55年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	八ツ目に非ず遠目	小牧源太郎	昭和56年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	パット・パルマNo.6	小牧源太郎	昭和58年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	飛行	小牧源太郎	昭和62年	小牧ますの氏寄附	全期
洋画	ラブ・ラブ・ミィ・ミィ	小牧源太郎	平成元年	小牧ますの氏寄附	全期
日本画	露店	三谷十糸子	昭和4年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	おとめたち	三谷十糸子	昭和6年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	女	三谷十糸子	昭和9年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	猫と娘	三谷十糸子	昭和22年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	女人	三谷十糸子	昭和33年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	霧の夜	三谷十糸子	昭和39年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	春浅く	三谷十糸子	昭和58年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	花曇り	三谷十糸子	昭和59年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	ひなざり	三谷十糸子	昭和61年	「京の四季」シリーズから	前期
日本画	想	三谷十糸子	平成元年	三谷青子氏寄附	前期
日本画	野草	三橋 節子	昭和42年		前期
日本画	とわの土	三橋 節子	昭和44年		前期
日本画	裏山の収穫	三橋 節子	昭和46年		前期
日本画	湖の伝説	三橋 節子	昭和47年		前期
日本画	陶器登り窯	三橋 節子	昭和48年	「京の百景」シリーズから	前期
日本画	湖の伝説(余呉の天女)	三橋 節子	昭和49年		前期
書	金山	池 大雅	享保10年		後期
書	獨楽園之記	池 大雅	享保19年		後期
書	考工記図解	池 大雅	延享2年		後期
日本画	高士訪隠図屏風	池 大雅	寛延3年		後期
日本画	梅花月図(指頭画)	池 大雅	江戸時代中期		後期
日本画	蕙石図(指頭画)	池 大雅	江戸時代中期		後期
日本画	墨梅図	池 大雅	江戸時代中期		後期
日本画	蕙石図	池 大雅	江戸時代中期		後期
日本画	墨竹図	池 大雅	江戸時代中期		後期
日本画	風竹図	池 大雅	江戸時代中期		後期
日本画	寿老人図	池 大雅	江戸時代中期		後期

日本画	ゑびす図	池 大雅	江戸時代中期	後期
日本画	老松鶴図	池 大雅	江戸時代中期	後期
日本画	一富士二鷹三茄子図	池 大雅	江戸時代中期	後期
書	泉堂之偈	泉堂 元昶	享保14年	後期
洋画	京の家々集 (300点の内25点)	西川 純	昭和30年代	全期

※ 出品作品はすべて京都府立総合資料館蔵 (京都府京都文化博物館管理)

前期: 12月4日~1月6日、後期: 1月8日~2月3日

◇京都の美術・工芸展《雛人形と御所人形—ちいさきものへの愛情—》

概要: 桃の節句にちなんで京都府所蔵の人形作品

期 間: 2002年2月16日~3月24日

から展示

作 品: 日本画6点、人形41点

分野	資料名	制作者	年代	備考
人形	天児 (あまがつ)		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	這子 (ほうこ)		江戸時代後期	
人形	立雛		江戸時代中期	吉川観方コレクション
人形	立雛		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	立雛		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	立雛		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	立雛		江戸時代後期	堂本元次氏寄附
人形	立雛		明治時代初期	堂本元次氏寄附
人形	元禄雛		江戸時代中期	吉川観方コレクション
人形	元禄雛		江戸時代中期	吉川観方コレクション
人形	享保雛		江戸時代中期	吉川観方コレクション
人形	享保雛		江戸時代中期	
人形	次郎左衛門雛		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	有職雛 (小直衣)		江戸時代末期	吉川観方コレクション
人形	有職雛 (直衣)		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	有職雛 (小直衣)		江戸時代末期	吉川観方コレクション
人形	古今雛		江戸時代末期	吉川観方コレクション
人形	古今雛		江戸時代末期	吉川観方コレクション
人形	陶器雛		明治時代末期	伊藤昭子氏寄附
人形	有職雛道具		昭和時代初期	奥村篤亀子氏寄附
人形	御所人形 鯛釣り		江戸時代末期	
人形	御所人形 立稚児		江戸時代末期	堂本元次氏寄附
人形	御所人形 立稚児		明治時代末期	堂本元次氏寄附
人形	御所人形 犬		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	御所人形 びんぶく		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	御所人形 おふく		明治時代初期	吉川観方コレクション
人形	御所人形 宝袋持ち		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	御所人形 花車曳き		江戸時代後期	吉川観方コレクション
人形	御所人形 馬曳き		江戸時代末期	
人形	御所人形 獅子頭持ち		江戸時代末期	
人形	御所人形 這子(水引手)		江戸時代末期	堂本元次氏寄附
人形	御所人形 宝箱持ち(水引手)		江戸時代末期	堂本元次氏寄附
人形	御所人形 立稚児 (二種)		江戸時代末期	吉川観方コレクション
人形	豆御所人形各種		江戸~明治時代	
人形	三折れ人形		明治時代初期	吉川観方コレクション
人形	御所人形 立稚児	面屋庄次郎	昭和時代初期	面屋庄三氏寄附
人形	御所人形 末広がり	岡本正太郎	昭和30年代	岡本喜世氏寄附
人形	御所人形 無	岡本正太郎	昭和30年代	岡本喜世氏寄附
人形	御所人形 空也	岡本正太郎	昭和30年代	岡本喜世氏寄附
人形	御所人形 御局さま参内	面屋 庄三	昭和52年	
人形	御所人形 晴れ姿	面屋 庄三	昭和62年	
日本画	立雛図	土佐 光貞	江戸時代中期	吉川観方コレクション

日本画	立雛図	矢野 夜潮	江戸時代後期	吉川観方コレクション
日本画	次郎左衛門雛図	幸野 樞嶺	明治時代初期	吉川観方コレクション
日本画	立雛図	山口 素絢	江戸時代後期	吉川観方コレクション
日本画	立雛図	田能村直入	明治時代前期	吉川観方コレクション
日本画	上方雛飾図		江戸時代末期	吉川観方コレクション

※ 出品作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

### (3) 別館展示

#### ①東 室

◇第43回 2001年6月19日～9月16日 計46点

テーマ	資料名・作品名（作者）	期間
戦時中の暮らし —20世紀の京都 I—	物資配給購入券保存袋／防空電球／灯火管制用幕／陶製瓦斯焔炉／陶製湯湯婆／防毒面／防空頭巾／布製バケツ／糞結作り用具／木製電気パン焼器	全期間
中国の玩具 —臚コレクションより—	撥不倒／泥娃娃／布老虎／京劇の土人形／浙江の泥人形／無錫の泥人形／恵山の泥人形／西安の泥笛／西安の泥人形／西安の布玩具	全期間
木綿の型染め —丹波の藍型染めと沖繩の紅型—	藍木綿地菊唐草模様中形染裂地／藍木綿地鶴亀模様中形染裂地／臚脂木綿地亀甲水玉模様紅形着物／紅木綿地茄子模様紅形着物／白木綿地流水草花模様紅形着物／鼠木綿地花模様紅形着物 ほか	全期間
江戸時代の丹波焼	丹波焼中壺／丹波焼白釉流壺／丹波焼白掛鉛釉流壺／丹波焼黒釉流壺／丹波焼鉛釉壺／丹波焼双耳壺／丹波焼お齒黒壺／丹波焼黒釉流徳利／丹波焼大徳利／丹波焼白文字入徳利	全期間

◇第44回 2001年9月18日～12月16日 計26点（前期：9/18～10/14、後期：10/16～12/16）

テーマ	資料名・作品名（作者）	期間
お膳・食卓	箱膳／脚付き箱膳／丸膳／角膳（両足付き）／角膳（台付き）／会席膳／祝い膳／脚付き膳／卓袱台	全期間
幕末の京都	坂本龍馬書状／坂本龍馬所用鐔 七卿落図屏風	前期 後期
インドネシアの仮面と人形 —臚コレクションより—	バリ島の木彫仮面／バリ島のバロン面／バリ島の木彫人形／ジャワ島の木製面／ジャワ島の張り子面／ジャワ島の土人形／ワーヤン	全期間
ブータン、ネパール等の仮面 と人形—臚コレクションより—	パロの木彫面／パロの仮面／テンブーの土面／カトマンズの木彫面／カトマンズの張り子面／カルカッタの木彫人形／ペナレスの木彫人形	全期間

◇第45回 2002年3月19日～6月16日 計58点

テーマ	資料名・作品名（作者）	期間
嗜好品の民具	徳利／銚子／銚籠／盃／酒樽／焼酎壺／煙草盆／煙管／煙草入れ／燧袋／茶竹／水筒／アイスクリーム器／氷掻き器	全期間
再考「伏見人形」シリーズⅠ 子どもたちと動物たち	子連れ童子／笠持ち童子／舟乗り童子／犬乗り童子／馬乗り童子／鯛抱き童子／狐／牛／犬／馬／虎 ほか	全期間
江戸時代の京焼 古清水	芦に千鳥文手塩皿（御菩薩焼）／色絵笙形掛花生／色絵松竹文角皿／色絵縹文茶碗（清閑寺焼）／色絵六角段重／舟形向付（粟田焼）	全期間
江戸時代の京焼 名工にみる京焼	樓閣山水絵四方皿（尾形乾山）／赤絵ねじ鉢（奥田頼川）／白磁木瓜形水注（青木木米）／芋頭水指（初代高橋道八）／色絵紫陽花鉢（仁阿弥道八）／染付赤壁急須（尾形周平）／金襴手急須（尾形周平）／呉須赤絵菊竹画鉢（永楽保全）	全期間

※ 第43回～第45回の展示資料はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

#### ②西 室

##### a. 世界の石器

- ・猿人の石器—5点
- ・原人の石器—5点
- ・旧人の石器—8点
- ・北ヨーロッパ新石器時代の石器—17点
- ・大分県宮地前遺跡出土の石器—24点

##### b. 青森県石亀遺跡の縄文土器

- ・土器—24点
- ・石製品—7点

##### c. 平安京跡出土瓦—93点

※詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

## 3-2 特別展示

### (1) 自主企画展

#### ◇21世紀記念特別展 こころの交流 朝鮮通信使

—江戸時代から21世紀へのメッセージ—

会 期：2001年4月28日～6月3日（32日間）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

会 場：4階特別展示室・3階展示室

入場料：一般1,200円 大高生800円 中小生600円

特別鑑賞日：4月27日

主 催：京都府・京都市・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局

後 援：外務省・文化庁・駐日韓国大使館文化院・滋賀県・京都府教育委員会・京都市教育委員会・滋賀県教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・朝鮮通信使縁地連絡協議会・歴史街道推進協議会・共同通信社・KBS京都・エフエム京都

特別協力：マルハン

協 力：在日本大韓国民団京都府地方本部・在日本朝鮮人総联合会京都府本部

協 賛：オムロン・京セラ・ローム・ワコール

助 成：国際交流基金・日韓文化交流基金

担当者：定森秀夫・片岡 馨

概 要：江戸時代、日本は鎖国政策をとっていたが、当時の朝鮮と日本が信（よしみ）を通わず外交のある国「通信の国」として対等平等の善隣外交を続けてきたことはあまり知られていない。江戸時代の朝鮮通信使は、1607（慶長12）年から1811（文化8）年までの200年余の間に12回来日した。朝鮮国王（李氏朝鮮）の国書を携えた300～500人の大使節団が、徳川幕府の慶事や将軍の代替わりごとに派遣された。本展では、朝鮮通信使にちなむ絵画（屏風・軸・絵巻・浮世絵など）や工芸品（人形・印箋など）や墨跡に加え、韓国内（国立中央博物館・宮中遺物展示館）に残る作品・資料を展示することによって、当時の日本と朝鮮との善隣友好の架け橋となった朝鮮通信使の足跡

をたどった。

作 品：朝鮮国王李焞国書・徳川綱吉国書控・徳川家治国書控・東照社縁起絵巻（仮名本）・雨森芳洲肖像・交隣提醒・全一道人・治要管見・吏文大師・国書書改惣論・正徳元年朝鮮通信使進物並進物目録（以上、重文）、北政所宛豊臣秀吉白筆書状（重美）、東萊府使接倭使図・草梁倭館図・泛槎図（以上、韓国国立中央博物館蔵）、源氏物語団扇屏風・苅田雁秋草図屏風・牡丹図屏風（以上、韓国宮中遺物展示館蔵）、など205件

入場者：25,844人（1日平均808人）

講演会：別館ホール

- ・ 5月5日「朝鮮通信使と雨森芳洲」  
上田正昭氏（京都大学名誉教授）
- ・ 5月12日「朝鮮通信使行列図の読み方」  
ロナルド・トビ氏（東京大学大学院教授）
- ・ 5月19日「朝鮮通信使と日本民衆との交流」  
辛 基秀氏（青丘文化ホール代表）
- ・ 5月26日「朝鮮通信使と京都」  
仲尾 宏氏（京都造形芸術大学教授）

シンポジウム①：京都市国際交流会館

- ・ 4月28日「21世紀に甦る人・文化の交流  
—朝鮮通信使の今日的意義—」  
上田正昭氏、辛基秀氏、仲尾宏氏（以上、前出）、徐賢燮氏（駐横浜大韓民国総領事館総領事）、ロナルド・トビ氏（前出）

シンポジウム②：別館ホール

- ・ 5月13日「徳川家康と松雲大師  
—朝鮮通信使のさきがけ—」  
陳尚勝氏（中国・山東大学教授）、朴善熙氏（韓国・元韓国外国語大学教授）、河宇鳳氏（韓国・全北大学教授）、貫井正之氏（名古屋外国語大学講師）、米谷均氏（上武大学講師）、仲尾宏氏（前出）

ビデオ上映会：別館ホール

- ・ 5月3日・4日・6日・20日  
「江戸時代の朝鮮通信使」ほか



◇京都画壇・王朝文化の美を描く 竊本一洋展

会 期：2001年10月2日～11月4日（31日間）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日、但し10月22日は時代祭につき臨時開館）

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：10月1日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・日本経済新聞社

後 援：京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都商工会議所・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局

担当者：大西基子・長舟洋司・野口 剛

概 要：本展は、京都で生まれ育った日本画家・竊本一洋の50回忌を記念した企画である。明治45年（1912）に京都市立絵画専門学校に入学して、本格的に日本画家としての道を歩みはじめた一洋は、卒業後、山元春挙の早苗会で学び、春挙没後は同門の川村曼舟に師事するとともに、早苗会の中心作家として活躍した。曼舟の没後は早苗会を解散し、耕人社を結成して後進の育成に当たったが、昭和27年（1952）に活躍半ばの58歳でその生涯を閉じた。一洋は、王朝の古典文学から取材した物語絵や歴史風俗画を得意とし、師風とは異なって、豊かで華麗な

作風を示したが、昭和になると端正で清澄な画風を展開した。本展では、これまでまとまった展覧会の無かった竊本一洋の生涯にわたる作品を紹介し、その画業の全容を回顧した。

作 品：董摘み（大正元年頃）、壬生狂言の楽屋（大正4年）、流るる悲歌（大正5年）、秋の夜長物語（大正8年）、山荘の夕（大正12年）、木花開耶姫（大正13年頃）、酒童童子（昭和4年）、雲雀山之図（昭和8年）、明石（昭和10年頃）、鶴（昭和11年）、葵上（昭和12年）、玉藻化生（昭和13年）、湖畔晴日（昭和17年）、大納言隆家（昭和18年）、山居秋静之図（昭和22年）、秋（昭和23年）、源氏物語<賢木・明石>（昭和24年）、渡邊玉三郎碁遊三昧ノ図（昭和26年）、夕和（昭和26年／絶筆）、など79件

入場者：10,520人（1日平均339人）

講演会：映像ホール

・10月13日「竊本一洋と京都の日本画」

加藤類子（池坊短期大学教授・

池坊短期大学むろまち美術館副館長）

・10月20日「京都の画家 竊本一洋」

大西基子（当館学芸員）

列品解説：4階会場

・10月27日 大西基子（当館学芸員）



2001年4月27日 「このころの交流 朝鮮通信使」 展開会式  
（別館ホール）



2001年10月 「竊本一洋展」 会場風景（4階特別展示室）

## (2) 共催展等

### ◇北条時宗とその時代展

会 期：2001年6月19日～7月22日（31日間）  
休館日：毎週月曜日、但し7月16日は臨時開館  
入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円  
主 催：京都文化博物館・NHK京都放送局・NHK  
きんきメディアプラン  
後 援：文化庁・京都府・京都市・京都府教育委員会  
・京都市教育委員会・京都商工会議所・  
京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建  
都1200年記念協会・歴史街道推進協議会  
協 賛：ハウス食品  
制作協力：NHKプロモーション  
担当者：土橋 誠

概 要：2001年のNHKの大河ドラマ「北条時宗」  
関連の展覧会。若くして鎌倉幕府の第8代  
執権となり、蒙古襲来への対応に明け暮れ  
た北条時宗の生涯と、彼の生きた時代を取  
り上げる。それと同時に、北条氏の執権政  
治や、武家に迎えられた新たな仏教や文化  
などを通じて、明治に至るまでの長い間続  
いた武家政権の基礎を確立した鎌倉時代の  
本質を探ろうとした。

作 品：六波羅御教書案（東寺百合文書）・太刀  
銘定利（以上、国宝）、深心院閑白記・黒  
漆塗革張兜鉢・龜山法皇坐像・十王図（以  
上、重要文化財）、吾妻鏡・蒙古襲来絵詞  
模本など、138件、約320点

入場者：28,722人（一日平均927人）

### ◇漢代「王車」の輝き

—中国山東省双乳山濟北王陵出土文物—

会 期：8月4日～9月16日（38日間）  
休館日：毎週月曜日  
入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円  
特別鑑賞日：8月3日  
主 催：京都文化博物館・山東省文化庁・読売新聞  
大阪本社・読売テレビ  
後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京  
都市教育委員会・京都商工会議所・京都府観  
光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年  
記念協会・歴史街道推進協議会  
担当者：南 博史

概 要：中国山東省双乳山濟北王陵から出土した前  
漢時代の「王車」とその関連資料など、69

件（442点）を展観する。この王墓は、武  
帝の玄孫にあたる濟北国最後の王である劉  
寛のものと推定されている。この墓から出  
土した貴重な車馬具の他、玉器・青銅器・  
金製品などから、当時の諸侯国の様子や車  
馬制度を知ることができる。今回は、夏休  
み期間ということもあって、子どもを対象  
とした各種の普及プログラムを実施した。  
また、専用のホームページやデジタル図録  
なども作成し、今後の企画展への実験的試  
みを行なった。

作 品：王車復元模型2両、青銅鍍金蓋弓帽、青銅  
金銀象嵌環、玉枕獸頭、玉璧、青銅燻炉な  
ど69件、442点

入場者：11,816人（一日平均311人）

講演会：別館ホール

・8月18日「漢と弥生」

金関 恕氏（大阪府立弥生文化博物館館長）

### ◇チベット仏教美術展—タンカの世界—

会 期：2001年11月15日～2002年1月6日（40日間）  
休館日：毎週月曜日及び12月28日～1月3日  
入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円  
特別鑑賞日：11月15日

主 催：京都文化博物館・ハンピッツ文化財団・京  
都新聞社

後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京  
都市教育委員会・京都商工会議所・京都府観  
光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年  
記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京  
都放送局

協 賛：日産化学工業・ニチメン・西遊旅行

協 力：アジアナ航空

監 修：田中公明（東方研究会研究員、ハンピッツ  
文化財団学術顧問）

担当者：大塚活美・洲鎌佐智子

概 要：「タンカ」と呼ばれる軸装仏画の収蔵数に  
かけては、世界最大級を誇る韓国ハンピツ  
ツ文化財団の1000点近いコレクションの中  
から、時代・地域・図像・作品などを考慮  
しつつ約90点の作品を厳選し、複雑な展開  
をとげたチベット仏教美術の全貌を展観し  
た。

作 品：「チベット死者の書」（18～19世紀）、「阿弥  
陀如来と極楽浄土図」（18～19世紀）、「釈

迦如来」(14世紀)、「ナーロー流のダーキ  
ニー」(16~17世紀) など87点

入場者：16,299人(1日平均407人)

講演会：別館講義室

・11月25日「チベット仏教美術の歴史と

タンカの世界」

田中公明氏(ハンピッツ文化財団学術顧問)

◇京都府美術工芸新鋭選抜展~2002新しい波~

会期：2002年1月19日~2月3日(14日間)

休館日：毎週月曜日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館

後援：京都新聞社・朝日新聞京都支局・毎日新聞  
京都支局・読売新聞大阪本社・産経新聞社・  
日本経済新聞社・NHK京都放送局・KBS  
京都・エフエム京都・平安建都1200年記  
念協会

担当者：長舟洋司・藤本恵子

概要：京都で活躍している新進作家の作品を広く  
紹介し、その育成を図るとともに、京都の  
美術工芸の振興を図る展覧会

作品：

最優秀賞：福本双紅「薄曇り」(陶芸)

優秀賞：福島栄利子「untitled」(洋画)、児  
嶋サコ「KICK US,」(彫刻)、吉引  
ありさ「ヘビに噛まれた朝」(染織)  
など38作家、68点

入場者：4,211人(1日平均301人)

◇「冷泉家展」と国宝『明月記』

会期：2002年2月16日~3月24日(32日間)

休館日：毎週月曜日

会場：4階特別展示室・3階展示室

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主催：京都文化博物館・(財)冷泉家時雨亭文庫・

朝日新聞社

後援：文化庁・京都府・京都府教育委員会・京都市  
教育委員会・京都府観光連盟・京都市観  
光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街  
道推進協議会・NHK京都放送局

協賛：大日本印刷

担当者：土橋 誠

概要：歌人藤原俊成・定家父子を祖とし、歌の家  
として連綿と続いてきた冷泉家は、明治時  
代の初めに他の公家が東京に移り住んだ後  
も京都に残り、今日まで公家の伝統文化を  
守ってきた。本展では、冷泉家に伝わる調  
度や絵画、歴代当主の筆跡などによって、  
江戸時代の公家文化に焦点を当てた。併せ  
て、冷泉家所蔵の文化財のうち、最もよく  
知られている定家の日記『明月記』の国宝  
指定を記念して、同家の要望もあって、初  
めて全巻を一堂に公開した。

作品：一字かるた、花鳥図時絵香道具、八橋図時  
絵化粧箱、色絵梅月図角食籠、筆之錦(土  
佐光武筆ほか)、花鳥図(鉅鹿君山筆)、芦  
鶴図(鶴澤探索筆)、為理卿記、桜町天皇  
御集(冷泉為村筆)ほか、約100件、約500  
点、及び『明月記』(国宝)、60点

入場者：40,605人(1日平均1,269人)

講演会：別館ホール

・3月2日「藤原定家の日記『明月記』」

美川 圭氏(摂南大学助教授)

・3月16日「冷泉家の江戸時代」

冷泉為人(冷泉家第25代当主、

池坊短期大学学長)

見学会：

・3月21日~24日

「冷泉家邸平成大修理工記念見学会」

2001年度特別展の開催状況一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
最後の天才浮世絵師一月岡芳年展	(2001. 3.15)~2001. 4.15	13	12,103	931	共催展
こころの交流 朝鮮通信使	2001. 4.28 ~2001. 6. 3	32	25,844	808	自主展
北条時宗とその時代展	2001. 6.19 ~2001. 7.22	31	28,722	927	共催展
漢代「王車」の輝き	2001. 8. 4 ~2001. 9.16	38	11,816	311	共催展
京都画壇・王朝文化の美を描く一案本一洋展	2001.10. 2 ~2001.11. 4	31	10,520	339	自主展
チベット仏教美術展~タンカの世界~	2001.11.15 ~2002. 1. 6	40	16,299	407	共催展
京都府美術工芸新鋭選抜展~2002新しい波~	2002. 1.19 ~2002. 2. 3	14	4,211	301	共催展
「冷泉家展」と国宝『明月記』	2002. 2.16 ~2002. 3.24	32	40,605	1,269	共催展
計 8件		231	150,120	650	

(3) 特別陳列

会 期：2001年12月18日～2002年3月17日（72日間）

◇紙の民具と玩具

概 要：紙を素材とする民具・歴史資料・風俗資料  
と郷土玩具78点を展示

会 場：別館1階東室

分 野	資 料 名 (収集地)
民 具	花笠・紅花包装紙・助炭・籠台・箱枕・もんぺ型・吸取り紙・独楽・色紙傘・押絵（以上、京都市）／張子箆（宮津市）
歴史資料	千代紙
風俗資料	籠提灯／箱提灯／小田原提灯／弓張提灯／雪洞／有明行燈／組み笠／手箱／団扇／烏帽子／七夕紙子
郷土玩具	太秦瓜隆寺牛祭の面／吉田神社の節分面／嵯峨面／千本釈迦堂のおたふく／姫路の張り子面／倉敷の張り子／宇和島の八鹿面／高松の張り子面／伏見の張り子人形／人吉の紙人形／熊本のお人形／白根の絵うちわ／谷汲踊うちわ／韓国の扇、うちわ／高知の凧／駿河凧／大社の祝い凧／土佐凧／群馬の一銭凧／マレーシアの凧／インドネシアの凧／タイの凧／韓国の紙薦／カルタ／百人一首／めんこ／すごろく／おもちゃ絵／組み立て絵

(4) 館外共催事業

会 期：2001年10月23日～10月28日（6日間）

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 公開

入場者数：187人

会 場：京都府立総合資料館収蔵展示室

◇京都府立総合資料館再開館記念

会 期：2001年6月21日～6月28日（8日間）

「馬の人形展」への協力

入場者数：398人

会 場：京都府立総合資料館展示室

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 公開

会 期：2002年1月5日～1月31日（25日間）

会 場：京都府立総合資料館収蔵展示室

出品作品：郷土玩具「馬」など206点

(5) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導、などにおいて協力している。

主 催 者	期 間	開催場所	展示内容
京都府	2001. 4. 6～ 7. 2	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府・大宮町・大宮町教育委員会 ・大宮ふれあい工房	2001. 7.14～ 7.24	大宮ふれあい工房	森口嘉光作品 24点
京都府・岩滝町・岩滝町教育委員会	2001. 9. 1～ 9. 9	岩滝町生涯学習センター知遊館	「京の絵本」原画から30点
京都府	2001. 7.18～ 9.28	京都府庁	「京の四季」から7点
京都府	2001.11.15～12.28	京都府庁	「京の四季」から7点
劔やわた市民文化事業団	2001.11.22～12. 4	八幡市文化センター	「いのち賛歌」から15点
京都府	2001.12.21～2002.3.20	京都府庁	「京の四季」から7点

3-3 映 画

(1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
2001. 4. 5～ 5. 6	映画美術の情念 美術監督・内藤昭の世界	山椒大夫／近松物語／夜の河／大菩薩峠／釈迦／悪名／座頭市物語／斬る／剣／泥の河	20	40	2,592
2001. 5.10～ 5.27	追想・新珠三千代 『人間の条件』特集上映	人間の条件第1部／第2部／第3部／第4部／第5部／第6部	12	24	1,817
2001. 5.31～ 7.29	才華凌艶、市川雷蔵	次男坊鴉／新・平家物語／大阪物語／弁天小僧／炎上／ジャン有馬の襲撃／薄桜記／初春狸御殿／大菩薩峠／大菩薩峠 電神の巻／大菩薩峠 完結編／ぼんち／忍びの者／破戒／眠狂四郎 殺法帖／	34	68	6,185

		大殺陣 雄呂血／華岡青洲の妻			
2001. 7.13～ 7.14	祇園祭記念特別上映	祇園祭	2	4	327
2001. 8. 2～ 8. 5	『羅生門』と宮川一夫 グランプリ受賞50周年記念	羅生門／雨月物語／反射スル眼	4	8	500
2001. 8. 9～ 9. 2	「学校」特集 人が成長する時	青い山脈／続・青い山脈／山びこ学校／二十四の瞳／しいのみ学園／人間の壁	12	24	1,507
2001. 8.16～ 8.19	上方ルネッサンス2001楽劇の祭典 映画の中の古典芸能 名演の記録と表現の冒険	心中天網島／紅葉狩／中村鴈治郎 舞台のおもかげ／伽羅先代萩／京舞四世井上八千代	4	8	521
2001. 9. 6～ 9.30	映画都市・京都、草創の時 撮影所は花ざかり	弥次喜多 善光寺詣り／尾上松之助 葬儀／影法師／快人狼（前・後篇）／砂絵呪縛／弁天小僧／鞍馬天狗 恐怖時代／関取千両幟／右門捕物帖 三番手柄／国土無双／御詠治郎吉格子／滝の白糸	16	32	946
2001.10. 4～10.26	松竹映画行進曲 キネマの新天地 東の蒲田、西の下加茂	路上の靈魂／若者よなぜ泣くか／落第はしたけれど／金色夜叉／人生のお荷物／隣の八重ちゃん／雪之丞変化／残菊物語	16	32	1,269
2001.11. 4～11.25	松竹映画行進曲 松竹太秦撮影所特集	歌麿をめぐる五人の女／破戒／稲妻草紙／治郎吉格子／切腹／古都／二等兵物語／暗殺	16	32	1,787
2001.11.18	日本映画テレビ技術協会 特別試写会	長崎ぶらぶら節	1	1	132
2001.11.29～12.23	松竹映画行進曲 松竹大船撮影所特集	風の中の子供／愛染かつら／帰郷／お茶漬の味／この広い空のどこかに／椿山節考／愛と希望の街／男はつらいよ（第1作）	16	32	1,790
2002. 1. 5～ 1.27	卒寿なお現役 映画監督・新藤兼人	愛妻物語／原爆の子／縮図／悲しみは女だけに／第五福竜丸／裸の島／ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	14	28	1,706
2002. 1.31～ 2.24	梅もほころぶ、 ユーモア時代劇特集	弥次喜多 善光寺詣り／国土無双／気まぐれ冠者／丹下左膳余話・百万両の壺／エノケンのちゃっきり金太／昨日消えた男／ひばり捕物帖 かんざし小判	12	24	1,148
2002. 2. 7～ 2.10	映画監督 中島貞夫特集	893愚連隊／序の舞	4	8	398
2002. 2.28～ 3.31	働くということ	一人息子／土／春秋一刀流／機関車C-57／ある保姆の記録／小島の春／海に生きる／西陣／生きる／日本の悲劇／喜びも悲しみも幾歳月／にあんちゃん	20	40	2,012
		計	203	405	24,637

## (2) 特別企画・共催事業

### ◇“才華凄艶”市川雷蔵ポスター展

映画俳優・市川雷蔵が出演した全155作品のポスターや関連資料を展示。8～9頁参照。

会場：3階美術・工芸展示室

期間：2001年6月9日～8月5日

協力：粟田宗良コレクション、山村嵯都子

### ◇グランプリ受賞50周年記念

—『羅生門』と宮川一夫

期間：2001年8月2日～5日

特別協力：宮川家、スタジオデルタ

<作品上映>『反射スル眼』（2000年スタジオ・アーニマ、宮川家／監督：亀井武彦）



2001年6月 「“才華凄艶”市川雷蔵ポスター展」会場風景  
(3階美術・工芸展示室)

<資料展示>当館所蔵の宮川一夫氏関連資料を映像  
ギャラリーで展示。

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール  
「市川崑とモダニズム」

期 間：2001年8月4日～6日  
共 催：日本映像学会関西支部、京都府  
会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇上方ルネッサンス2001 楽劇の祭典「映画の中の古  
典芸能一名演の記録と表現の冒険」

期 間：2001年8月16日～19日  
共 催：関西楽劇フェスティバル協議会

◇写真展「音のない記憶—井上孝治の世界」

会 場：別館ホール

期 間：2001年9月20日～26日

共 催：映画『アイ・ラブ・フレンズ』製作支援の  
会

◇日本映画テレビ技術協会特別試写会

『長崎ぶらぶら節』

(2000年東映京都作品／監督：深町幸男)

期 間：2001年11月18日

共 催：日本映画テレビ技術協会

※敬称略。映画タイトルは『 』で表記。特に会場の記載  
されていない催しは当館3F映像ホールで開催した。

(3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期  
の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮  
影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品か  
ら73作品をダイジェストして収録し、検索システムと  
して公開している。詳細については『京都文化博物館

10年のあゆみ』(1999年)を参照されたい。

なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・  
スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしな  
がら公開している。2001年度は下記のテーマで展示し  
た。

期 間	テ ー マ	期 間	テ ー マ
2001. 4. 5～ 5. 6	映画美術の情念・美術監督内藤昭の世界	2001. 9. 6～ 9.30	映画都市京都の撮影所関係資料展示
5.10～ 5.27	追想・新珠三千代	10. 4～12.23	松竹京都撮影所資料展示
5.31～ 7.29	市川雷蔵の世界	2002. 1. 5～ 1.27	映画監督・新藤兼人資料展示
8. 2～ 8. 5	撮影監督・宮川一夫資料展	1.31～ 2.24	美空ひばり“ひばり捕物帖”の世界
8. 9～ 9. 2	「学校」特集 人が成長する時ポスター展示	2.28～ 3.31	特集上映「働くということ」 上映作品ポスター展示

(4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
実方 司郎	京都興行協会常任理事*	中島 貞夫	映画監督	岡本 道雄	内部委員
多田道太郎	京都大学名誉教授	畑 利明	東映京都撮影所長	高見 静治	内部委員
土田 正義	KYOTO映画塾	森田富士郎	映画撮影監督	溝口 勝美	内部委員
内藤 昭	映画美術監督	三品 廣実	京都府文化芸術室長		

※ \*印：2001年4月就任

## 4. 調査研究活動

### 4-1 調査

#### (1) 埋蔵文化財の発掘と整理

##### ◇雲林院跡の整理と報告書の刊行

遺跡名：雲林院跡

所在地：京都市北区紫野雲林院町83番地

整理期間：2001年4月1日～2002年3月31日

依頼者：三井不動産株式会社関西支社

作業概要：雲林院跡発掘調査の遺物整理と報告書の作成

担当者：鈴木忠司

報告書：『雲林院跡—京都市北区紫野雲林院町—』  
（『京都文化博物館調査研究報告』第14集、  
2001年3月）

##### ◇梅屋小学校跡地の立会い調査と発掘調査

遺跡名：平安京左京二条三坊一町跡

所在地：京都市中京区釜座通丸太町上る梅屋町174

調査期間：立会い調査—2002年1月9日～15日

発掘調査—2002年2月1日～3月31日

（2003年度へ継続）

依頼者：京都第二赤十字病院

調査原因：新病棟建築に伴う発掘調査

調査面積：1,200㎡

調査担当：定森秀夫（主任）、南博史、村田昌也

調査概要：当地は、平安京神祇官付属の關係の神祇官町の一部に想定されている。既存の小学校校舎の基礎撤去に伴って実施した立会い調査では、包含層の攪乱が著しかったものの、部分的に瓦溜めや焼土層を確認した。また、一部に鎌倉時代の包含層の残存も認められた。引き続き実施した本調査では、調査面最上層は江戸後期～明治の土層と思われるが、元治元年の焼土層は認められなかった。鑄型の破片も見つかっており鑄造關係の作業場があったことが推測できた。主要遺構：井戸、室、倉基礎、石組み遺構が目立つ。遺構数約100。

主要出土品：近世陶磁器、瓦類、石製品、土製品、鑄型など。遺物量は専用コンテナ約100箱。

### 4-2 学芸員の活動

#### (1) 博物館研究費による研究

大西基子 京都画壇の源流—幕末・明治の四条派  
大塚活美 京都および周辺地域の祭礼についての歴史的研究

藤本恵子 近代における風俗研究の動向と蒐集活動について—吉川コレクションを中心に—  
洲鎌佐智子 幕末から明治における京の工芸の相対的な位置について

野口 剛 狩野派と上方浮世絵に関する研究

定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究  
南 博史 歴史系博物館の教育普及活動において考古学をどう利用していくか—遺跡博物館の可能性を考える(2)—

大塚活美・野口 剛・洲鎌佐智子  
館所蔵「誓願寺門前図」の総合的研究

#### (2) 外部研究費・共同研究等による研究

鈴木忠司 ・平成13年度高梨学術奨励基金「岩宿時代における植物質食料の利用に関する研究」

南 博史 ・共同研究「エルサルバドル・チャルチュアパ遺跡カサブランカ地区における考古学調査」（代表：伊藤伸幸名古屋大学助手・新大陸文化研究所代表）  
・笹川科学研究助成金海外発表促進助成「博物館における教育普及活動」（「エルサルバドル・チャルチュアパ遺跡カサブランカ地区調査報告会」）

#### (3) 出講・委嘱

山本俊介 ・京都府美術工芸新鋭選抜展 審査員  
・福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員  
・創工会展委嘱 審査員  
森脇清隆 ・大谷大学短期大学部出講（後期）  
「京都学・映像論」  
野口 剛 ・京都府立大学出講（前期）  
「博物館概論」

片岡 肇 ・木下美術館委嘱 理事  
鈴木忠司 ・奈良大学出講（前期）「先史考古学」

- ・京都府立大学出講（後期）  
「博物館実習講義」
- ・古代学協会委嘱  
「古代文化」刊行委員会編集参与
- 植山 茂 ・NHK京都放送局委嘱  
NHK京都府視聴者会議委員
- 山下秀樹 ・京都府立大学出講（前期）  
「博物館実習講義」
- 定森秀夫 ・花園大学出講（通年） 「考古学研究」  
・滋賀大学出講（集中講義）  
「博物館経営・情報論」
- 南 博史 ・京都外国語大学出講（通年）  
「考古学の基礎」  
・京都外国語大学出講（通年）  
「博物館実習 I」
- ・古代学協会委嘱  
「古代文化」刊行委員会編集参与

#### (4) 学芸員の業績

##### a. 論文・著作

- 大西基子 ・図録『京都画壇・王朝文化の美を描く—  
案本一洋展』共同編集（京都文化博物館、  
2001年10月）  
・「早苗会の案本一洋—京風の大和絵を描  
いて」「作品解説」「年譜」（図録『案本  
一洋展』所収）  
・「案本一洋作品年譜」（京都文化博物館研  
究紀要『朱雀』第14集所収、京都文化博  
物館、2002年3月）
- 大塚活美 ・「作品解説（分担）」（図録『北条時宗と  
その時代展』所収、NHK・NHKプロ  
モーション、2001年4月）  
・「全国の『大文字』行事—その概要と相  
互比較—」（再録、『殉国の諸英霊よ、御  
霊安かれ—奈良大文字保存会40年史—』  
所収、奈良大文字保存会、2001年6月）  
・「江戸時代の洛中洛外図の主題と構図に  
ついて—二条城前の行列を手掛かりに—」  
（『歴史評論』第621号所収、歴史科学協  
議会、2002年1月）  
・「あかねさす蒲生野」（『近江歴史回廊近  
江万葉の道』所収、淡海文化を育てる会、  
2002年1月）  
・「室町時代中期の坂本の暮らし点描—山  
科家の日記から—」（京都文化博物館研  
究紀要『朱雀』第14集所収）
- 藤本恵子 ・「戦後・染織工芸の示すもの」（京都国立  
近代美術館ニュース『視る』396号所収、  
2001年8月）  
・「翻刻：風俗研究家・吉川観方の日記  
（昭和7年分）」（京都文化博物館研究紀  
要『朱雀』第14集所収）
- 長舟洋司 ・図録『案本一洋展』共同編集（前掲）  
・「小山三造について—小山三造関連資料  
の紹介（1）—」（京都文化博物館研究  
紀要『朱雀』第14集所収）  
・「同志社所蔵の肖像画について」（『同志  
社論叢』第22号所収、同志社社史資料室、  
2002年3月）
- 洲鎌佐智子 ・「幕末・明治初期の京焼」（京都文化博物  
館研究紀要『朱雀』第14集所収）
- 野口 剛 ・「作品解説（分担）」（図録『北条時宗と  
その時代展』所収）  
・図録『案本一洋展』共同編集（前掲）  
・「<花洛十二月>十月—紅葉狩と亥の  
月の行事—」（『茶道雑誌』第65巻第10号  
所収、河原書店、2001年10月）  
・「森派小史—寛斎を中心に—」（図録『森  
寛斎と森派の絵画』所収、花園大学歴史  
博物館、2001年10月）
- 片岡 肇 ・「作品解説（分担）」（図録『北条時宗と  
その時代展』所収）
- 鈴木忠司 ・『第6回安芸のまほろばフォーラム 旧  
石器時代のムラをさぐる』（共著、東広  
島市教育委員会、2000年3月）  
・「書評 小野昭著『打製骨器論』」（『第四  
紀研究』第40巻第4号所収、日本第四紀  
学会、2001年8月）  
・「縄文以前の乙訓地方」（『乙訓文化遺産』  
8号所収、乙訓の文化遺産を守る会、  
2001年9月）  
・「岩宿時代のムラ」（『地質と調査』2001  
年第3号所収、土木春秋社、2001年9月）  
・「石蒸し調理実験記録—燻加熱の諸方法  
をめぐって—」（竹内直文・磯群調理実  
験グループと共同執筆／京都文化博物館  
研究紀要『朱雀』第14号所収）
- 定森秀夫 ・図録『こころの交流 朝鮮通信使—江戸



時代から21世紀へのメッセージ』共同編集（京都文化博物館・京都新聞社、2001年4月）

- ・「各部解説文」「作品解説（分担）」（図録『こころの交流 朝鮮通信使』所収）
- ・「『こころの交流 朝鮮通信使』展からのメッセージ—21世紀の『誠信の交わり』をめざして」（『文化財レポート』No.5所収、財京都文化財団、2001年4月）
- ・「江戸時代のお隣り付き合い—美術で見る朝鮮半島との交流の広がり」（『目の眼』No.297所収、里文出版、2001年6月）
- ・「韓国の装飾付陶質土器」（『考古学ジャーナル』No.467所収、2001年8月）
- ・「『こころの交流 朝鮮通信使—江戸時代から21世紀へのメッセージ』展」（『日韓文化交流基金NEWS』No.19所収、財日韓文化交流基金、2001年9月）
- ・「大伽耶と倭」（第26回韓国上古史學會學術發表大會資料『大伽耶・周邊諸國』所収、高靈郡・韓國上古史學會、2001年9月）
- ・「陶質土器からみた倭と大伽耶」（『大伽耶・周邊諸國』所収、高靈郡・韓國上古史學會、2002年2月）
- ・「陝川玉田古墳群出土の特異なコップ形土器祖形再論」（『清溪史學』16・17合輯所収、韓國精神文化研究院清溪史學會、2002年2月）

#### b. 発表・講演

- 大西基子
- ・「京都の画家 案本一洋」（案本一洋展講演会、京都文化博物館、2001年10月20日）
  - ・「列品解説」（案本一洋展、京都文化博物館、2001年10月27日）
- 大塚活美
- ・「京のまつり」（歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2001年4月14日）
  - ・「小城の祇園社と祇園会」（肥前千葉氏シンポジウム、佐賀県小城町中央公民館、2001年9月23日）
  - ・「えがかれた京」（歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2001年9月29日）
  - ・「洛中洛外図絵解き」（まちづくりイベント『五彩の会』、全日空ホテル京都ロビー、2001年11月18日）

- ・「第二定型洛中洛外図の主題と構図—二条城前の行列を中心に—」（『洛中洛外図研究会』第2回研究会、東京大学史料編纂所、2001年12月18日）
- 長舟洋司
- ・「美術展示の照明方法—照明器具と光源の特性及び効果をめぐって—」（国際協力事業団平成12年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、2001年4月6日）
  - ・「京都の洋画と同志社の肖像画」（公開講演会、同志社大学、2001年7月14日）
  - ・「美術展示の照明について—代表的機種のパフォーマンスと特性—」（国際協力事業団平成13年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、2002年3月5日）
- 片岡 肇
- ・「考古資料でたどる博物館周辺の歴史」（歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2002年3月23日）
- 鈴木忠司
- ・「縄文以前の乙訓地方」（乙訓の文化遺産を守る会、2001年6月3日）
  - ・「石器」（千葉県埋蔵文化財専門技術者研修、プラザ菜の花、2001年9月27・28日）
  - ・「縄文草創期の食と生業」（『縄文文化の起源を探る』展研究講座、権原考古学研究所附属博物館、2001年10月28日）
  - ・「捏造事件とは何だったのか」（第34回みやこ評議会、京都芸術センター、2001年12月9日）
  - ・「岩宿（旧石器）時代研究の今」（日本史研究会市民講座、コープイン京都、2002年1月27日）
  - ・「世界の旧石器」（歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2002年2月16日）
  - ・「フィンランド博物館事情」（京都中ロータリークラブ、京都ホテル、2002年2月25日）
- 植山 茂
- ・「平安京のかわら」（歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2001年5月19日）
  - ・「中京の歴史と文化」（中京優良申告法人会、京都銀行協会、2001年6月19日）
  - ・「考古学でたどる三条界隈の歴史」（『まちなかを歩く日』関連ギャラリートーク、京都文化博物館、2001年10月16日）
  - ・「羅城門模型」（歴史常設展展示解説、京

- 都文化博物館、2002年1月5日)
- ・「博物館レポート」(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター公開講座、キャンパスプラザ京都、2002年2月16日)
- 定森秀夫
- ・「大伽耶と倭」(第26回韓国上古史學會學術發表大會『大伽耶・周邊諸國』、韓国慶尚北道高靈郡大伽耶国楽堂、2001年9月28日)
  - ・「京都の渡来文化」(光華女子大学短期大学部『京都の文化と芸術』、光華女子大学短期大学部、2001年10月12日)
  - ・「日本列島出土の高霊タイプ系・固城タイプ系陶質土器」(第5回国立歴史民俗博物館国際シンポジウム『古代東アジアにおける倭と伽耶の交流』、国立歴史民俗博物館、2002年3月13日～16日)
- 南 博史
- ・「匠の世界・鋳金具」(歴史常設展展示解

説、京都文化博物館、2001年6月23日／特別講師・磯村浩之亮氏と)

- ・「博物館における教育普及活動」(チャルチュアパ遺跡カサブランカ地区調査報告会、エルサルバドル国立博物館、2001年9月8日)
  - ・「三条界限まちなかトーク」(『まちなかを歩く日』関連シンポジウム、京都文化博物館、2001年10月16日)
  - ・「京都の縄文時代」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2001年12月22日)
- 土橋 誠
- ・「源氏物語一大島本について」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2001年7月7日)
  - ・「源氏物語一仮名文字から見る」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2001年11月10日)



2002年3月23日 学芸員による展示解説(2階歴史展示室)

## 5 普及活動

### 5-1 出版物

#### (1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

##### ◇『朱雀』第14集

発行：京都文化博物館

発行日：2002年3月31日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：B5判、157ページ

編集担当：土橋 誠

所載記事：

##### 【研究ノート】

鈴木忠司・竹内直文・礫群調理実験グループ

石蒸し調理実験記録(2)―礫加熱の  
諸方法をめぐって―

大塚活美 室町時代中期の坂本の暮らし点描

―山科家の日記から―

洲鎌佐智子 幕末・明治初期の京焼

##### 【資料紹介】

長舟洋司 小山三造について―小山三造関連資料  
の紹介(1)

藤本恵子 翻刻：風俗研究家・吉川観方の日記  
(昭和7年分)

大西基子 案本一洋作品年譜

#### (2) 京都文化博物館調査研究報告

##### ◇第15集『雲林院跡―京都市北区紫野雲林院町―』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：2002年3月31日

制作・印刷：中西印刷(株)

体裁：A4判、216ページ、図版24ページ

編集担当：鈴木忠司

#### (3) 京都文化博物館年報

##### ◇2000年度

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2002年3月31日

印刷：(株)燈影舎

体裁：A4判、38ページ

編集担当：片岡 馨・大塚活美

#### (4) 展覧会図録

##### ◇『こころの交流 朝鮮通信使

―江戸時代から21世紀へのメッセージ』

編集・発行：京都文化博物館・京都新聞社

発行日：2001年4月28日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：A4判、268ページ

編集担当：定森秀夫

##### ◇『特別展 漢代「王車」の輝き

―中国山東省双乳山濟北王陵出土文物―』

編集・発行：京都府京都文化博物館、山口県立萩美  
術館・浦上記念館

発行日：2001年4月

印刷：瞬報社写真印刷(株)

体裁：A4判、135ページ

##### ◇『京都画壇・王朝文化の美を描く―案本一洋展―』

編集：京都文化博物館学芸第一課

発行：京都文化博物館

発行日：2001年10月1日

制作・印刷：(株)写真化学

体裁：21.3cm×28.0cm、156ページ

編集担当：大西基子・長舟洋司・野口 剛

##### ◇『京都府美術工芸新鋭選抜展～2002新しい波～』

編集・発行：京都府・京都文化博物館

発行日：2002年1月

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：25cm×25cm、52ページ

※各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の開  
始月を挙げた。

### 5-2 講演会・音楽会

#### (1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2001. 4. 7 4.14	佐々木もと子 大塚 活美	池大雅美術館館長 当館学芸員	京のまつり	美術工芸常設展展示解説 歴史常設展展示解説

5. 5	上田 正昭	京都大学名誉教授	朝鮮通信使と雨森芳洲	朝鮮通信使展講演会
5.12	ロナルド・トビ	東京大学大学院教授	朝鮮通信使行列図の読み方	朝鮮通信使展講演会
5.13	陳 尚勝	中国・山東大学教授	徳川家康と松藝大師	朝鮮通信使展 日韓中共同シンポジウム
	朴 晝熙	韓国・元韓国外語大学教授		
	河 宇鳳	韓国・全北大学教授		
	賀井 正之	名古屋外国語大学講師		
	米谷 均	上武大学講師		
	仲尾 宏	京都造形芸術大学教授		
5.19	辛 基秀	青丘文化ホール代表	朝鮮通信使と日本民衆との交流	朝鮮通信使展講演会
〃	植山 茂	当館主任学芸員	平安京のかかわり	歴史常設展展示解説
5.26	仲尾 宏	京都造形芸術大学教授	朝鮮通信使と京都	朝鮮通信使展講演会
6.23	南 博史	当館主任学芸員	匠の世界・鋳金具	歴史常設展展示解説
	磯村浩之亮	文友会		
7. 7	土橋 誠	当館学芸員	源氏物語一大島本について	歴史常設展展示解説
8.18	金蘭 恕	大阪府立弥生文化博物館館長	漢と弥生	漢代「王車」の輝き展講演会
9.29	大塚 活美	当館学芸員	えがかれた京	歴史常設展展示解説
10.13	加藤 類子	池坊短期大学教授	案本一洋と京都の日本画	案本一洋展講演会
10.20	大西 基子	当館学芸員	京都の画家 案本一洋	案本一洋展講演会
10.27	大西 基子	当館学芸員		案本一洋展列品解説
11.10	土橋 誠	当館学芸員	源氏物語一仮名文字から見る	歴史常設展展示解説
11.16	植山 茂	当館主任学芸員	考古学でたどる三条界隈の歴史	まちなかを歩く日開連 ギャラリートーク
〃	宗田 好史	京都府立大学助教授	三条界隈まちなかトーク	まちなかを歩く日開連 シンポジウム
	南 博史	当館主任学芸員		
11.25	田中 公明	ハンピッツ文化財団学術顧問	チベット仏教美術の歴史とタンカの世界	チベット仏教美術展講演会
12.22	南 博史	当館主任学芸員	京都の縄文時代	歴史常設展展示解説
2002. 1. 5	植山 茂	当館主任学芸員	羅城門模型	歴史常設展展示解説
2.16	鈴木 忠司	当館主任学芸員	世界の旧石器	歴史常設展展示解説
3. 2	美川 圭	摂南大学助教授	藤原定家の日記『明月記』	冷泉家展と国宝明月記展講演会
3.16	冷泉 為人	冷泉家第25代当主 池坊短期大学学長	冷泉家の江戸時代	冷泉家展と国宝明月記展講演会
3.23	片岡 馨	当館学芸第二課長	考古資料でたどる博物館周辺の歴史	歴史常設展展示解説

## (2) 音楽会

### a. 京都文化博物館音楽会シリーズ

「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会

協 賛：吉忠株式会社

協 力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）

### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・X ヴィルトゥオーゾの誕生 その1—ヴァイオリン編

第四夜	フランドルの巨匠・ヴェータン——オペラとパガニーニの影響	2001年4月12日	116名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	玉井菜採（ヴァイオリン）／北川恵美（ピアノ）		
曲 目	H. ヴェータン：バラードとポロネーズ Op. 38／ファンタジア・アパシヨナータ Op. 35／ヴァイオリン協奏曲 第4番 二短調 Op. 31		
第五夜	旅にあげくれたマエストロ・シュポーア——オペラとパガニーニの影響	2001年6月15日	68名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	田辺良子（ヴァイオリン）／小坂圭太（ピアノ）		
曲 目	L. シュポーア：ヴァイオリン協奏曲 第8番 イ短調 Op. 47 [歌の情景—オペラの形式で]／モーツァルトの「魔笛」の主題によるポプーリ		
第六夜	イタリア・ルネッサンスに始まるヴィルトゥオーゾの歴史とヴェニアフスキーの足跡	2001年8月14日	116名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	伊藤真理子（ヴァイオリン）田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	H. ヴィエニアフスキー：華麗なるポロネーズ 第1番 二長調 Op. 4／伝説曲 Op. 17／モスクワの思い出 Op. 6／「ファウスト」による華麗なる幻想曲 Op. 20		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XI ヴィルトゥオーゾの誕生 その2ーピアノ編

第一夜	ピアノのヴィルトゥオーゾとしての大作曲家ベートーヴェン	2001年10月5日	150名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	神谷郁代（ピアノ）		
曲 目	ベートーヴェン：パガテル「エリーゼのために」イ短調 WoO.59/ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調「月光」Op. 27-2/ピアノ・ソナタ 第23番 ヘ短調「熱情」Op. 57		
第二夜	ヴィルトゥオーゾの創造 ショパン——望郷のピアノ詩人	2001年12月11日	121名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	九頭見香穂里（ピアノ）		
曲 目	ショパン：ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」Op.53/バラード 第3番 変イ長調 Op. 47/ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調「葬送」Op. 35		
第三夜	パガニーニに憧れたヴィルトゥオーゾ・ピアニスト——リスト	2002年2月21日	160名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	リスト：ラ・カンパネラ（パガニーニによる超絶技巧練習曲集より）/愛の夢ー3つの夜想曲/ピアノ・ソナタ ロ短調		

b. 第12回祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ

（代表者浅野愛子）

日 時：2001年7月15日、16日

演 目：三絃合奏（たぬき、越後獅子）、さくら変

主 催：京都文化博物館

奏曲、京の夜、落葉の踊、夕顔、華紋、篝

後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ  
うじ店舗博和会

火、日本のうた（明日があるさ）ほか

入場者：577人

会 場：京都文化博物館別館ホール

※祇園祭協賛事業として開催し、別館を午後6時から8時  
30分まで無料公開した。

演奏者：生田流宮城会麗調会社中

5-3 博物館実習

①第1組

実施期間：2001年8月7日～10日

実習生：京都府立大学4人、立命館大学3人、滋賀  
県立大学2人

③実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学—山本・鈴木・藤本
- ・美術資料について —長舟・野口
- ・工芸資料について —洲鎌・藤本
- ・民俗資料について —山本・大塚
- ・文書資料について —土橋
- ・考古資料について —南・植山
- ・映像資料について —森脇
- ・まとめと反省 —全担当学芸員

②第2組

実施期間：2001年9月4日～7日

実習生：京都外国語大学5人、京都造形芸術大学3  
人、都留文科大学1人、京都精華大学1人

5-4 その他の活動

(1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像  
など多分野にわたり、現在単行本約58,500冊、逐次刊  
行物約3,000タイトル（65,500冊）を収蔵している。中  
でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約22,400冊、展覧  
会図録が約8,800冊と多く、また、映画のシナリオを  
約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図

書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者  
に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入  
れ数は、4,528件であった。

(2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とす  
る美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチ

ラシヤリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、京都の伝統行事、歴史、庭園、寺社の御利益、散歩道、コーヒーショップ、京の花などの検索できる「京のオススメ」と、近畿の歴史文化についてのCDによる動画情報の「歴史街道—ロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。

### (3) 生涯学習ボランティア

京都府長寿社会政策室の呼びかけに応じて発足させた生涯学習ボランティアは、常設展示の英語によるガイドとして、外国人の入館者に対するサービスを行ってきた。ボランティア・グループは「MOKの会」を結成して、総会・例会・研修会など独自の活動を実施している。

#### ①2001年度の活動（会員数34名）

- 2000年4月14日 2001年度総会  
6月2日 6月例会  
9月1日 9月例会  
9月22・23日 SKYふれあいフェスティバル2001  
10月31日 第4回学習ひろば  
(於：京都府立山城郷土資料館)
- 2002年1月12日 1月例会  
1月12日 見学研修会（清明神社、一条戻橋、承天閣美術館、冷泉家邸）  
3月9日 3月総会  
2002年度役員選出  
1班—並河 麗子（副会長）  
2班—桜井 和代（会長）  
3班—山岸 正子（副会長）

### (4) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術・工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

#### ①会員の特典

- ・会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・博物館発行出版物の割引

### ②会費

- ・個人会員 年会費 6,000円
- ・グループ会員（2名以上） 年会費 5,000円（1人）

### ③2001年度の状況

会員総数 883名（個人 601名、グループ 282名）

#### 見学会

- ・第1回：2001年5月25日  
見学先：京都府立堂本印象美術館  
説明者：吉田洋一堂本印象美術館学芸員  
参加者：57名
- ・第2回：2001年10月19日  
見学先：角屋もてなしの文化美術館  
説明者：中川清生財団法人角屋保存会理事長  
参加者：35名

### (5) 地域との連携

#### ①「まちなかを歩く日」への参加と協力

京都市の都市づくり推進課の呼びかけで、地域住民や事業者、関心のある市民など多数の人々が参加して、2000年7月に「歩いて暮らせる街づくり推進会議」が設立された。その趣旨を具体化するために、同推進会議が企画し、取り組むイベント「まちなかを歩く日」の第1回が、その年の11月に行われ、当館は「まちづくりシンポジウムと文博ミニコンサート」の会場として別館を提供した。

2001年度になって、同推進会議から当館に、第2回目の「まちなかを歩く日」（11月16日～18日）への参加と協力についての正式な要請があり、学芸第二課を中心に、積極的に協力することになった。今年度は「まちなかまるごとミュージアム」という企画のうち、以下についての協力をした。

- a. 「歩いて見つける歴史とくらし ～まちなかウォークラリー～」に対する協力（資料調査、原稿作成など）
- b. 「別館における展示とトーク」（11月16日）
  - 1) 高倉宮・曇華院跡出土遺物の展示
  - 2) ギャラリートーク「考古学でたどる三条界隈の歴史」  
植山 茂（当館学芸第二課主任学芸員）
  - 3) シンポジウム「三条界隈まちなかトーク」  
宗田好史氏（京都府立大学助教授）  
南 博史（当館学芸第二課主任学芸員）ほか

## 6. 国際交流

### 6-1 陝西歴史博物館友好交流事業

1991年6月に中国陝西省西安市に開館した陝西歴史博物館と当館とは、1994年の「大唐長安展」開催を契機に、同年12月に友好提携の調印を行い、①学術研究の成果の交流、②文物の保護技術の交流、③人材の育成・交流、を通じて両館の友好関係を確立し、推進することとした。その結果、人的な交流については、1年おきにそれぞれの職員2名を2週間派遣することになり、1995年に当館の職員を陝西省に派遣することが

ら両館の交流の第一歩を踏み出した。

この友好交流事業は、京都府からの補助事業という形で進められてきたが、長引く経済不況の下で、京都府も財政再建に取り組むこととなり、1999年度から当面の間、陝西歴史博物館職員の招聘は行わないもの、当館の職員の陝西省への派遣は中止することとなった。従って2001年度の人的交流は行わなかった。

### 6-2 その他の交流事業

国際協力事業団では、主として開発途上国を対象に、文化財の保存と整備の推進に貢献することを目的として、1992年度から「文化財修復整備技術コース」を設

けて、京都の関連諸機関の協力を得て、研修を実施してきた。当館では、1993年度から「展示技術」に関する研修を受け入れてきた。

#### ①国際協力事業団平成12年度文化財修復設備技術コース研修

研修年月日	研修内容		研修員	
	研修名	担当者	人数	国名
2001年4月5日	京都文化博物館の概要・館内見学 民俗資料の展示への利用について	鈴木忠司学芸第二課主幹 大塚活美学芸第一課学芸員	7	中国・ミャンマー・スリランカ・タイ・トルコ・エチオピア・グアテマラ
4月6日	美術展示の方法—照明器具と光源の特性 及び効果をめぐって— 「旧日本銀行京都支店」の保存と利用について	長舟洋司学芸第一課学芸員 植山 茂学芸第二課主任学芸員		

#### ②国際協力事業団平成13年度文化財修復整備技術コース研修

研修年月日	研修内容		研修員	
	研修名	担当者	人数	国名
2002年3月5日	京都文化博物館の概要・館内見学 民俗資料の展示への利用について	鈴木忠司学芸第二課主幹 大塚活美学芸第一課学芸員	10	ホンデュラス・ケニア・マレーシア・モンゴル・ミャンマー・ペルー・ポーランド・サウディアラビア・タイ・チュニジア
3月6日	美術展示の照明方法—照明器具と光源の特性 及び効果をめぐって— 「旧日本銀行京都支店」の保存と利用について	長舟洋司学芸第一課学芸員 鈴木忠司学芸第二課主幹		



2001年5月25日 京都文化博物館友の会見学会  
(京都府立堂本印象美術館)



2001年4月 「新日美京都巡回展」会場風景  
(5階展示室)

## 7. ギャラリー事業

### 7-1 5・6階展示室

#### (1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は、学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は、学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1

名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家等の作品について審議している。2001年度の委員会は以下のとおり開催した。

委員会開催日	審議対象期間	件数
2001年 6月21日	2001年12月～2002年 3月	23
10月18日	2002年 4月～2002年 7月	17
2002年 2月28日	2002年 8月～2002年11月	22

#### (2) 美術・工芸作家の利用

京都府工芸美術陳列所（京都府ギャラリー）の機能を引き継いで、当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・

デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。2001年度の利用件数は、55件であった。なお、6階展示室にもピクチャーレールを設置したので、美術・工芸作家の利用も可能となった。

#### ①作家利用一覧

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2001. 4.21～22	第5回水明選抜書展	書	2001.10.17～21	萌葱会染色作品展	染織
26～29	和紙ちぎり絵 村城翠江展	諸工芸	17～21	蒼蒼展	洋画
26～30	森谷洋至写真展	写真	25～28	京の名工展	工芸総合
26～30	日本画光玄展	日本画	25～28	面法会能・狂言面展	諸工芸
26～30	新日美京都巡回展	美術総合	11.21～25	第13回創工会展	工芸総合
5.23～27	京都書作家協会会員展	書	28～12. 2	高橋貞夫木彫&彫彩展	諸工芸
23～27	松月の曾	諸工芸	28～12. 2	白土会洋画作品展	洋画
6.20～24	北沢一念 能面&茶碗	諸工芸	30～12. 2	絵更紗画林展	染織
20～24	筍々会展	日本画	12.12～16	京都現代写真作家展	写真
20～24	種々展	日本画	20～24	帆の会展	洋画
20～24	辛酉会展	書	20～24	第31回京都写真家協会展「京一期一影」	写真
28～ 7. 1	絵更紗美術協会会員展	染織	20～24	筍々会展	日本画
7.17～22	成安造形短期大学専攻科展	総合	20～24	畝展	日本画
25～29	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	2002. 1. 9～14	第3回全国阿波藍染織作家協会展	染織
25～29	辻本洋太郎万葉スケッチ紀行原画展	洋画	19～20	水明選抜書展	書
8.15～19	植田昌明洋画展	洋画	23～27	示現会京都作家展	洋画
15～19	ファインド・アイ文人光画展	写真	23～27	莽生展	日本画
22～26	六轡会篆刻作品展	書	23～27	汎具象会友と受賞作家展	洋画
22～26	2001新美	美術総合	2.14～17	成安造形短期大学服飾文化学科卒業作品展	工芸総合
9.20～24	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	22～24	京都橘女子大学日本語日本文学科書道コース展	書
20～24	明是栄蔵洋画作品展	洋画	3.20～24	あまがつ会人形展	諸工芸
20～24	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合	20～24	蒼龍展	書
27～30	宮下南山・終南父娘二人展	書	20～24	新協美術京都展	洋画
27～30	平安書道会聚英展	書	20～24	京都教育大学彫塑研究室卒業制作展	彫刻
27～30	書の会「躍」展	書	27～31	面匡会京都能面展	諸工芸
27～30	名原禾津・遠藤泉女現代書展	書	27～31	汎具象会会員展	洋画
27～30	第31回京都写真芸術展	写真	27～31	京都現代書芸展	書
10.17～21	出原修子創作重ねね絞り染織	染織			
			計55件 (110日間)		48,976人



②作家利用分野別入場者状況

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	7	10	12	5	1	2	5	0	7	4	2	55
割合 (%)	12	18	22	9	2	4	9	0	13	7	4	100
入場者数	6,298	7,175	8,922	5,566	562	1,596	3,957	0	6,930	6,540	1,430	48,976
1件平均入場者数	899	398	743	1,113	562	798	791	0	990	1,635	715	890

(3) 生涯学習の発表期間の利用

1998年度より、5階・6階各展示室に生涯学習の発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ず

る利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

①生涯学習の発表の利用一覧

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2001. 4. 5～4. 8	第10回 押し花アート展	諸工芸	1,009
	4. 5～4. 8	第2回 楠幸男風景画展	洋画	388
	4.11～4.15	ブペドール 創作陶磁器人形展	諸工芸	1,475
	4.11～4.15	樋口華玄書作展・華曜舎書展	書	921
	6.13～6.17	創作布花とシャドーボックス展 一青竹との三重奏	諸工芸	1,089
	7. 9～7.15	第19回 上野の森美術館大賞展開覧展	洋画・日本画	1,005
	7.31～8. 5	八十山和代 日中友好中国帰国展	洋画	696
	9. 6～9. 9	三餘会書展	書	539
	9. 6～9. 9	和田草園遺墨展	書	382
	9.12～9.16	第18回 産経国際書展関西展	書	951
	10. 4～10. 7	第16回 鳳交会かな書展	書	240
	10.11～10.14	京都とっておきの芸術祭	美術総合	1,410
	10.31～11. 4	吉田木芸木彫教室作品展	彫刻	2,300
	10.31～11. 4	第10回 光熱能面會展	諸工芸	1,345
	10.31～11. 4	市民美術アトリエ合同展	洋画	911
	11. 1～11. 4	彩素会絵更紗展	染織	1,161
	12.11～12.16	スコーネクラブ刺繍展	諸工芸	1,171
	2002. 2. 5～2.12	京都伝統工芸専門学校 第6回卒業記念作品展	美術総合	2,270
	2.28～3. 3	第15回 全国シルバー書道展京都展	書	1,399
	3. 6～3.10	第19回 桃天会日本画展	日本画	689
3. 6～3.10	水彩スケッチ会展	洋画	591	
3.12～3.17	第19回 全国水墨画秀作展	日本画	1,899	
計22件 使用日数：110日				23,841人
6階	2001. 4.17	体験学習（京舞）	その他	73
	5. 9	体験学習（講演会）	その他	220
	5.30	体験学習（京舞）	その他	185
	6. 7	体験学習（京舞）	その他	104
	6.24	浅野愛子社中 箏曲おさらい会	その他	100
	7.31～8. 3	勸片山家能楽保存財団 第五回 能装束・能面展	工芸総合	1,162
	9. 9	染織光悦會展	染織	484
	9.12～9.16	産経国際書会 第1回 関西代表展	書	814
	10. 2～10. 4	第29回 京都シニア大学 学園文化祭	美術総合	340
	10. 6～10. 7	華道本能寺 第59回 華道盛美展	華道	371
	10.11～10.14	第39回 龍門社選抜書道展	書	1,025
	10.19～10.21	第16回 模様絵師 寺澤森秋作品展	染織	251
	10.28	投扇興についての講義と実演	その他	60
	11. 2	第86回 狂言三笑会	その他	190

11. 8～11.11	アトリエ・ラルジャン飾金教室作品展	金工	598
11.16～11.18	第31回 表芸展	その他	477
11.20～11.22	加賀友禅花鳥風月展	染織	1153
11.23～11.25	京都未生流いけばな展	華道	820
12.20	第12回 菊音会講習会	その他	30
2002. 1. 9～ 1.14	京都有職ひな人形博覧会	その他	689
2. 6～ 2.11	京都有職ひな人形博覧会	その他	793
3.15～ 3.21	京都有職五月人形博覧会 (内18日は休館日)	その他	335
3.26	第87回 狂言三笑会	その他	180
計23件		使用日数：62日	10,454人

## ②生涯学習的発表の利用分野別入場者状況

	和装 呉服	美術								工芸					美術 工芸 総合	総計
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	-	2	5	6	-	1	2	16	1	-	5	-	6	-	22
	日数	-	11	27	26	-	5	12	81	4	-	25	-	29	-	110
	人数	-	2,588	3,591	4,432	-	2,300	3,680	16,591	1,161	-	6,089	-	7,250	-	23,841
6階	件数	-	-	-	2	-	15	1	18	3	1	-	1	5	-	23
	日数	-	-	-	9	-	35	3	47	7	4	-	4	15	-	62
	人数	-	-	-	1,839	-	4,627	340	6,806	1,888	598	-	1,162	3,648	-	10,454

※ 5階「その他」は彫刻である。6階「その他」には華道2件(119人)と体験学習4件(582人)を含む。

### (4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会等の他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市等の会場としても利用されている。

		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	6	0	5	2	1	14
	日数	17	0	16	7	4	44
6階	件数	13	0	0	0	1	14
	日数	40	0	0	0	2	42

※ 美術：日本画、洋画、書、写真など、  
工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

## 7-2 別館ホール

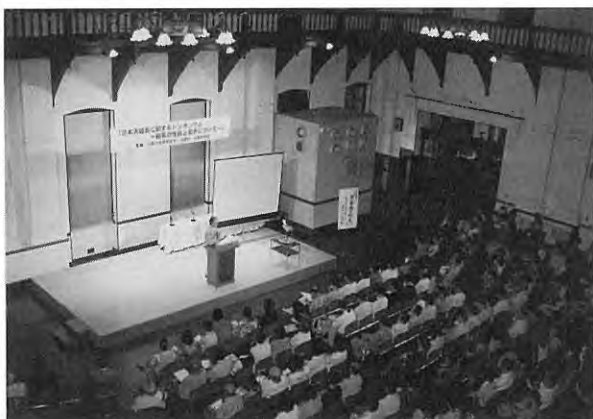
旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館のホールは、通常は常設展示の一環として公開しており、明治時代の代表的な洋風近代建築の内部が鑑賞できるが、一方で多目的ホールとしての機能も持っ

ている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使うとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

### ①利用状況

会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
2001. 4.22	京都C.モンテヴェルディ合唱団定期演奏会	9.15	エフエム京都収録 LUV&SOULライブ
4.29	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	9.16	長月コンサート 加藤ますえカンツォーネリサイタル
5.22	伊藤深雪フォルテピアノリサイタル	9.20～26	写真展 音のない記憶 井上孝治の世界
5.27	あいのまちはうすコンサート	10. 2～ 4	京都橘女子大学歴史文化ゼミナール
6. 1～ 3	橋村重彦 洛北 花脊染友禅展	10.12	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
6.24	仏教大学混声合唱団 SUMMER CONCERT	10.14	パッハアカデミー関西定期演奏会
7. 1	杏子SUPECIAL ACCOUSTIC LIVE	10. 2	アンサンブルリード ファーストコンサート
7.20	パフォーマンス イン ミュージアム Vol.1 源流を看る 舞う 奏でる	10.21	三好荒山中 清荒社 尺八演奏会
7.29	京都日本画家協会 日本総具シンポジウム	10.23～25	京都橘女子大学歴史文化ゼミナール
9. 1	混声合唱団CADENZA定期演奏会	10.28	FM802収録 矢井田瞳アコースティックライブ
9. 2	京都教職員互助組合 妹尾河童講演会	11. 3	京都C.モンテヴェルディ合唱団定期演奏会
9. 8	長井芽乃&長谷川麻子クラシカルライブ	11. 9～10	杉田二郎ライブ from my heart
		11.23	MU楽団 合唱空間コンサート

11.23~25	アトリエエンジェル スタンドグラス作品展	1.26	萬 英子・大平朋美ピアノコンサート
11.30	ボスコミュージック 日下部祐子コンサート	1.27	アストロリコタンゴコンサート
12. 2	アリババと15人の盗賊 京都リサイタル	2.16	中村行延ライブ PAGE NEXT
12. 8	ANSENBLE 京都定期演奏会	2.22~23	京都橘女子大学文化政策研究センター 関西女性アーティストファイル Vol.1
12. 9	京都室内合唱団クリスマスコンサート	3. 3	京都フランス歌曲協会サロンコンサート
12.16	LA 萌DIE2001クリスマスコンサート	3.13	COPA COPI ファーストコンサート
12.19	3GPP TSG 京都会合 (コンベンションビューロー)	3.17	トロンボーン5656第2回ジョイントコンサートin京都
12.22	エフエム京都収録 EPO & SMOOTH ACE アコースティックライブ	3.21	ノーベル賞100周年記念フォーラム パーティー
12.23	翔 ユリ子 クリスマスコンサート	3.23~24	落語DEオペラ フィガロの結婚
2002. 1.13	鴻田侑子ピアノ教室アンサンブルの夕べ	3.30~31	京都ロータクトクラブ 触れてみる展覧会2
入場者数 計 11,253人			

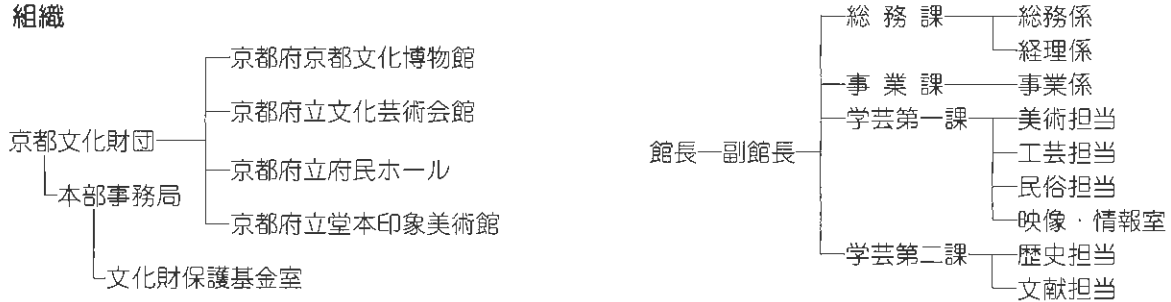


2001年7月29日 京都日本画家協会「日本画絵具に関するシンポジウム」(別館ホール)

## 8. 管理・運営

### 8-1 組織と職員

#### (1) 組織



※ 総務課は京都文化財団本部事務局を兼ねる。

#### (2) 京都文化財団役員

職名	氏名	所 属 等	註	職名	氏名	所 属 等	註
顧問	芦原 義重	関西電力株式会社名誉会長		理事	芝田 米三	洋画家	
	荒巻 禎一	京都府知事			菅 泰男	京都大学名誉教授	
	林田悠紀夫	前京都府知事			多田道太郎	京都大学名誉教授	
理事長	岡本 道雄	京都大学名誉教授、京都文化博物館長			谷内 乾岳	神護寺住職	
副理事長	千 宗室	茶道家元			角田 文衛	財古代学協会理事長	
	草木 慶治	京都府副知事			堂本 元次	日本画家	
常務理事	高見 静治	京都文化博物館副館長			西村 恭子	美術プロデューサー	
理事	稻盛 和夫	京都商工会議所名誉会頭			藤田 哲也	京都府教育委員会委員長	
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授			真弓 常忠	八坂神社宮司	
	岡田 節人	J T 生命誌研究館長			村井 康彦	京都造形芸術大学教授	
	門脇 禎二	京都府立大学名誉教授		監事	山本 壯太	NHK京都放送局長	
	清水九兵衛	彫刻家・陶芸家			岡田 博邦	財京都銀行協会専務理事	
	小畑 弘	京都府社会教育委員連絡協議会会長			塩見 司郎	京都府出納管理局長	*
	坂上 守男	財京都府観光連盟会長・財京都市観光協会会長					

※ \*印：2001年7月4日就任

#### (3) 京都文化博物館職員

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長	岡本 道雄	館総括	財団理事長兼務
	副館長	高見 静治	館業務総括	財団常務理事兼務
総務課	課長事務取扱	篠下 文夫	課総括	財団事務局長・本部事務局兼務/2001.4～
	参事・総務係長事務取扱	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	生島 宏次	経理係	財団本部事務局兼務
	主任	森木 礼子	経理係	財団本部事務局兼務
	主事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	嘱託	中越 悦朗	総務係	
	参事(文化財保護基金室)	矢野 治彌	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室/2001.4～
	室長(文化財保護基金室)	伊藤 顯	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室
	友の会嘱託	中井 三郎	友の会・別館	非常勤
事業課	課長	新井田郁雄	課総括	
	主事	磯野真知子	事業係	
	主事	森 雅樹	事業係	
	主事	海老名和孝	事業係	
	嘱託	門脇 郁男	事業係	非常勤

学芸第一課	課長 映像・情報室長 主査・学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 嘱託 嘱託	山本 俊介 内村 悦郎 大西 基子 大塚 活美 藤本 恵子 長舟 洋司 洲鎌佐智子 森脇 清隆 野口 剛 溝口 勝美 有田 幸男	課総括 映像・情報担当 美術担当 民俗担当 工芸担当 美術担当 工芸担当 映像・情報担当 美術担当 映像 映像	2001.4～  学芸第二課兼務       非常勤 非常勤／～2001.12
学芸第二課	課長（主任学芸員） 主幹（主任学芸員） 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 学芸員	片岡 肇 鈴木 忠司 植山 茂 山下 秀樹 定森 秀夫 南 博史 土橋 誠	課総括 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史・文献担当	～2002.3

#### (4) 職員表彰等

・京都市内博物館施設連絡協議会永年勤続表彰  
(6月26日表彰)

定森 秀夫（学芸第二課主任学芸員）

森木 礼子（総務課主任）

## 8-2 施設

### (1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1  
設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡（別館を含む）

建築面積：3,481.04㎡（別館を含む）

延床面積：15,827.42㎡（別館を含む）

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡／1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡／3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡／5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡／7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

### (2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル葺屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903（明治36）年9月～1906（明治39）年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積—819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指定：重要文化財

指定名称—旧日本銀行京都支店

指定年月日—1969年3月12日

指定書番号—建第1,708号

### (3) 主な改修・増設工事

#### ① 2階特別陳列コーナー展示ケース新設工事

(2001年4月)

当館の歴史の常設展示は、当初から模型や映像を主体として組み立てられており、実物資料が極めて少ない。このことについては、開館当時から賛否両論の意見が内外から寄せられていた。それを補うために、展示室内に展示ケースを設けて実物資料の展示をしてはどうかという声は、館内にも少なくなかった。

今年度、京都府のインターネット博覧会の「源氏物語パビリオン」に協賛して実施する重要文化財『大島本源氏物語』の特別公開を機会に、新たに展示ケースを設置し、「特別陳列コーナー」を設けることとし

た。2階歴史展示室の北端にある「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは、機器類の老朽化のため、近年トラブルが絶えなかったこともあって、これらを廃止して、そのあとに幅6,000mm、奥行き1,200

mm、高さ2,950mmの展示ケースを設置した。併せて、西側壁面に接して縦2,950mm、横4,500mmの展示用壁の設置と、明り取りのための窓の遮蔽工事を実施した。

### 8-3 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は当館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものであり、高倉通側には京料理などの飲食店、内側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は、当館の協力会として、当館の催しに合わせて、積極的に多彩な催しを開催している。本年度のろうじ店舗の利用者は143,183人であった。

#### ①ろうじ店舗一覧

- ◇紙の店—楽紙館
- ◇京しゅみ—菰軒
- ◇京のエッセンス19舗 名店会（順不同）
  - 薫香—松栄堂 京の雅—古澤仙壽堂
  - 京麩—半兵衛麩 京小間物—光悦
  - 数珠—福永念珠堂 京菓葉匠—若菜屋
  - 京菓子—鼓月 風雅便箋—表現社
  - 京佃煮—野村 化粧小物—左り馬
  - 宇治茶—福寿園 縮緬小物—くろちく
  - 京扇子—とくの 京つけもの—西利
  - 京象嵌—川人象嵌 京・清水焼—朝日堂
  - 竹の匠—高野竹工 なま八つ橋—井筒八ツ橋
  - 京菓子—甘春堂本舗
- ◇もち料理—きた村
- ◇手打そば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇甘党茶寮—あけぼの
- ◇エスプレッソコーヒーの店—コロラド
- ◇織屋直販店 ショップ西陣（順不同）
  - 風呂敷—上羽機業 絹のれん—渡文
  - バグー—小森織物 マフラー—塩野屋
  - シャツ—すぎむら ネクタイ—段下二郎
  - 小物入れ—辻梅 綴れグッズ—本つづれ勝山

- テーブルクロス—瀬川工芸織物
- ◇珈琲サロン（別館）—阿蘭陀館
- ◇ミュージアムショップ（3階）—便利堂

#### ②博和会行事

- 2001年 4月21日～5月31日 端午（鯉のぼり飾り）
- 5月25日～27日 ろうじの古本市
- 6月1日～3日 ろうじの呉美の市
- 6月5日～7月9日 セタ（セタ飾り）
- 9月8日～10月8日 重陽（菊飾り）
- 9月14日～16日 ろうじの呉美の市
- 11月16日～18日 ろうじの呉美の市
- 11月23日～25日 ろうじの古本市
- 12月20日
- ～2002年1月2日 正月（凧飾り）
- 3月3日～4月15日 桃の節句（雛飾り）
- 3月15日～24日 ろうじの呉美の市



2001年11月 ろうじの呉美の市（ろうじ店舗）

## 9. 2001年度のあゆみ

※ 事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の省略

月 日	事 項	月 日	事 項
4. 1	人事異動	6.26	京都市内博物館施設連絡協議会表彰（永年勤続一定森・森木）
4. 2	2階歴史展示室展示ケース設置工事（～4.4）	7. 4	第33回京都文化財団役員会（京都府公館）
4. 5	国際協力事業団平成12年度文化財修復整備技術コース研修（～4.6）	7. 7	歴史常設展展示解説（土橋／2階）
◇	「映画美術の情念—美術監督・内藤昭の世界」映画上映（MH／～5.6）	7.10	「第19回上野の森美術館大賞展・関西展」（5階／～7.15）
4. 7	美術・工芸常設展示「池大雅の人物表現」ギャラリートーク（佐々木氏／3階）	7.13	「祇園祭記念特別上映—祇園祭」映画上映（MH／～7.14）
4.10	インターネット博覧会京都府パビリオン「源氏物語」協賛 重要文化財『大島本源氏物語』特別公開（2階／～12.16）	7.15	<祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ>開催（AH／～7.16）
4.12	音楽会<ヴィルトゥオーゾの誕生・その1—ヴァイオリン編>第4夜（AH）	7.16	祇園祭宵山のため臨時閉館
4.14	歴史常設展展示解説（大塚／2階）	7.19	韓国高麗大学校博物館館長・崔光植氏ら来館
◇	生涯学習ボランティア「MOKの会」2001年度総会	7.30	「漢代“王車”の輝き」展中国山東省代表団来日（～8.5）
4.17	修学旅行体験学習「京舞」（6階）	8. 2	「羅生門と宮川—夫—グランプリ受賞50周年記念」映画上映（MH／～8.5）
4.28	「ごころの交流 朝鮮通信使」展開催（4階・3階／～6.3）	8. 4	「漢代“王車”の輝き」展開催（4階／～9.16）
◇	「朝鮮通信使」展国際シンポジウム（京都市国際交流会館）	8. 7	博物館実習第1組（～8.10）
4.30	KBSかたつむり大作戦に協力	◇	「京都の美術・工芸展—“連なり”の景色—連続と集合—」開催（3階／～10.14）
5. 3	「朝鮮通信使」展ビデオ上映会（AH／5.4、5.6、5.20）	8. 9	「学校特集 人が成長する時」映画上映（MH／～9.2）
5. 5	「朝鮮通信使」展講演会（上田氏／AH）	8.14	音楽会<ヴィルトゥオーゾの誕生・その1—ヴァイオリン編>第6夜（AH）
5. 9	修学旅行体験学習「講演」（6階）	8.16	「映画の中の古典芸能 名演の記録と表現の冒険」映画上映（MH／～8.19）
5.10	「追想・新珠三千代『人間の條件』特集」映画上映（MH／～5.27）	8.18	「漢代“王車”の輝き」展講演会（金関氏／AH）
5.12	「朝鮮通信使」展講演会（トビ氏／AH）	8.20	コンパニオン平成13年度下期研修会（AL）
5.13	「朝鮮通信使」展日韓共同シンポジウム（AH）	9. 1	生涯学習ボランティア「MOKの会」9月例会
5.16	修学旅行体験学習「歴史講座」（6階）	9. 4	博物館実習第2組（～9.7）
5.17	修学旅行夜の体験学習「けまり」（AH）	9. 6	「映画都市・京都、草創の時 撮影所は花ざかり」映画上映（MH／～9.30）
5.18	修学旅行夜の体験学習「京舞」（AH）	9.14	ろうじ店舗博和会「ろうじの呉美の市」（～9.16）
5.19	「朝鮮通信使」展講演会（辛氏／AH）	9.29	歴史常設展展示解説（大塚／2階）
◇	歴史常設展展示解説（植山／2階）	10. 1	エルサルバドル海外学術調査協力（南／～10.18）
◇	修学旅行夜の体験学習「京舞」（AH）	10. 2	「京都画壇・王朝文化の美を描く 案本—洋展」開催（4階／～11.4）
5.25	博物館友の会見学会（京都府立堂本印象美術館）	10. 4	「松竹映画行進曲—キネマの新天地 東の蒲田、西の下加茂」映画上映（MH／～10.26）
◇	ろうじ店舗博和会「ろうじの古本市」（～5.27）	10. 5	音楽会<ヴィルトゥオーゾの誕生・その2—ピアノ編>第1夜（AH）
5.26	「朝鮮通信使」展講演会（仲尾氏／AH）	10.13	「案本—洋展」講演会（加藤氏／MH）
5.30	修学旅行体験学習「京舞」（6階）	10.16	「京都の美術・工芸展—物語の小径—文学にもとづく作品を集めて—」開催（3階／～12.2）
5.31	「才華凌絶、市川雷蔵」映画上映（MH／～7.29）	10.18	展示室運営委員会（AL）
6. 1	ろうじ店舗博和会「ろうじの呉美の市」（～6.3）	10.19	博物館友の会見学会（角屋もてなしの文化美術館）
6. 2	生涯学習ボランティア「MOKの会」6月例会	10.20	「案本—洋展」講演会（大西／MH）
6. 7	修学旅行体験学習「京舞」（6階）	10.22	時代祭のため臨時閉館
6. 9	市川雷蔵映画ポスター展「才華凌絶、市川雷蔵」及び「京都の美術・工芸展—飄逸の陶彫 高山泰造展」開催（3階／～8.5）	10.27	「案本—洋展」列品解説（大西／4階）
6.15	音楽会<ヴィルトゥオーゾの誕生・その1—ヴァイオリン編>第5夜（AH）	11. 4	「松竹映画行進曲—松竹太秦撮影所特集」映画上映（MH／～11.25）
6.19	「北条時宗とその時代展」開催（4階／～7.22）	11.10	歴史常設展展示解説（土橋／2階）
6.21	展示室運営委員会（AL）		
6.22	修学旅行夜の体験学習「けまり」（AH）		
6.23	歴史常設展展示解説（南／2階）		

月 日	事 項	月 日	事 項
11.15	「チベット仏教美術展—タンカの世界」開催（4階／～2002.1.6）	2. 1	梅屋小学校跡地埋蔵文化財発掘調査（～8.21） 映像運営委員会（7階サロン）
11.16	ろうじ店舗博和会「ろうじの呉美の市」（～11.18）	2. 7	「映画監督・中島貞夫特集」映画上映（MH／～2.10）
◇	「まちなかを歩く日」協賛別館無料開放（高倉宮・曇華院跡出土遺物の展示／展示解説—植山／シンポジウム—宗田氏・南ほか）	2.16	「冷泉家展と国宝『明月記』」展開催（4階・3階／～3.24）
11.23	ろうじ店舗博和会「ろうじの古本市」（～11.25）	◇	「京都の美術・工芸展—雛人形と御所人形—ちいさきものへの愛情—」開催（3階／～3.24）
11.25	「チベット仏教美術展」講演会（田中氏／A.L）	◇	歴史常設展展示解説（鈴木／2階）
11.29	「松竹映画行進曲—松竹大船撮影所特集」映画上映（MH／～12.23）	2.19	エルサルバドル海外学術調査協力（南／～3.14）
12. 4	「京都の美術・工芸展—京都府所蔵絵画コレクション撰」開催（3階／～2002.2.3）	2.21	音楽会＜ヴィルトゥオーゾの誕生・その2—ピアノノ編＞第3夜（AH）
12. 8	美術工芸常設展示列品解説（長舟／3階）	2.28	展示室運営委員会（A.L）
12.11	音楽会＜ヴィルトゥオーゾの誕生・その2—ピアノノ編＞第2夜（AH）	◇	「特集・働くということ」映画上映（MH／～3.31）
12.18	歴史特別陳列「考古資料でたどる博物館周辺の歴史」開催（2階／～2002.6.2）	3. 2	「冷泉家展と国宝『明月記』」展講演会（美川氏／AH）
◇	別館特別陳列「紙の民具と玩具」（AE／～2002.3.17）	3. 5	国際協力事業団平成13年度文化財修復整備技術コース研修（～3.6）
12.22	歴史常設展展示解説（南／2階）	3. 9	生涯学習ボランティア「MOKの会」3月例会（7階サロン）
2002. 1. 4	ろうじ店舗きた村「お餅つき」	3.11	第34回京都文化財団役員会（京都府公館）
1. 5	「卒寿なお現役 映画監督・新藤兼人」映画上映（MH／～1.27）	3.15	ろうじ店舗博和会「ろうじの呉美の市」（～3.24）
◇	歴史常設展展示解説（植山／2階）	3.16	「冷泉家展と国宝『明月記』」展講演会（冷泉氏／AH）
1.12	生涯学習ボランティア「MOKの会」1月例会／見学研修会（晴明神社・冷泉家邸ほか）	3.21	「冷泉家展と国宝『明月記』」展関連「冷泉家邸平成大修理竣工記念」見学会（冷泉家邸／～3.24）
1.19	「京都府美術工芸新鋭選抜展～2002新しい波～」開催（4階／～2.3）	3.23	歴史常設展展示解説（片岡／2階）
1.21	消防訓練	3.31	研究紀要『朱雀』第14集刊行
1.31	「梅もほころぶ、ユーモア時代劇特集」映画上映（MH／～2.24）	◇	『雲林院跡』（『調査研究報告』第15集）刊行
		◇	『2000年度年報』刊行



2002年1月 「京都府美術工芸新鋭選抜展～2002新しい波～」(4階特別展示室)



2001年6月19日 「北条時宗とその時代展」サイン  
(三条高倉角)